

福島県
子どもの生活実態に関する
アンケート調査報告書

令和5年3月
福島県

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 回答方法	1
4 調査時期	1
5 回収結果	1
6 調査主体	2
7 配布・回収、集計・分析	2
8 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1 基本情報	3
(1) 性別	3
(2) 同居家族	3
2 家庭や家族のことについて	4
(1) お世話を必要としている家族	4
(2) お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由	4
(3) お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容	5
(4) おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由	5
(5) おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容	6
(6) 兄、あるいは姉をお世話している理由	6
(7) 兄、あるいは姉のお世話の内容	7
(8) 弟や妹をお世話している理由	7
(9) 弟や妹のお世話の内容	8
(10) お世話を一緒にしている人	8
(11) お世話をしている頻度	9
(12) 平日1日あたりにお世話に費やす時間	9
(13) お世話をしていることで経験したこと	10
(14) お世話をすることの大変さ	10
(15) お世話について相談した経験	11
(16) お世話の悩みについての相談相手	11
(17) お世話について相談していない理由	12
(18) 学校や周りの大人にしてもらいたいこと	12
(19) 代わってほしいお世話の内容	13
(20) 自分のことについて希望する相談方法	13
(21) 家族のお世話について希望する相談方法	14
(22) お世話をしている子どものために、学校や身の回りの大人にしてもらいたいこと	14

3	普段の生活について	18
	(1) 健康状態	18
	(2) 学校への出欠状況	18
	(3) 学校への遅刻や早退の状況	19
	(4) 普段の学校生活などであてはまること	19
	(5) 部活動や塾、習い事などへの参加状況	20
	(6) 現在の悩みごと	20
	(7) 悩みについて話を聞いてくれる人の有無	21
4	ヤングケアラーについて	22
	(1) ヤングケアラーの自己認識	22
	(2) 学校内にヤングケアラーと思う人の有無	22
	(3) ヤングケアラーの認知度	23
第3章 調査結果追加分析		24
1	性別によるお世話の状況の違い	24
	(1) 性別×お世話を必要としている家族	24
	(2) 性別×お世話の内容	24
	(3) 性別×お世話を一緒にしている人	26
	(4) 性別×お世話をしている頻度	27
	(5) 性別×平日1日あたりにお世話に費やす時間	27
	(6) 性別×お世話をしていることで経験したこと	28
	(7) 性別×お世話をすることの大変さ	28
	(8) 性別×お世話について相談した経験	29
	(9) 性別×お世話の悩みについての相談相手	29
	(10) 性別×お世話について相談していない理由	30
	(11) 性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと	30
	(12) 性別×代わってほしいお世話の内容	31
	(13) 性別×自分のことについて希望する相談方法	31
	(14) 性別×家族のお世話について希望する相談方法	32
2	家族構成によるお世話の状況の違い	33
	(1) 家族構成×お世話を必要としている家族	33
	(2) 家族構成×お世話の内容	33
	(3) 家族構成×お世話を一緒にしている人	35
	(4) 家族構成×お世話をしている頻度	36
	(5) 家族構成×平日1日あたりにお世話に費やす時間	36
	(6) 家族構成×お世話をしていることで経験したこと	37
	(7) 家族構成×お世話をすることの大変さ	37
	(8) 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと	38
	(9) 家族構成×代わってほしいお世話の内容	38
3	平日1日あたりのお世話に費やす時間による生活状況等	39

(1)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×健康状態	39
(2)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への出欠状況	39
(3)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への遅刻や早退の状況	40
(4)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×普段の学校生活などであてはまること	40
(5)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×現在の悩みごと	41
(6)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話をするこの大変さ	41
(7)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談した経験	42
(8)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話の悩みについての相談相手	42
(9)	平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談していない理由	43
4	お世話を必要としている家族によるお世話の状況等	44
(1)	お世話を必要としている家族×(回答者の)性別	44
(2)	お世話を必要としている家族×お世話の内容	44
(3)	お世話を必要としている家族×お世話を一緒にしている人	46
(4)	お世話を必要としている家族×お世話をしている頻度	47
(5)	お世話を必要としている家族×平日1日あたりにお世話に費やす時間	49
(6)	お世話を必要としている家族×お世話をしていることで経験したこと	51
(7)	お世話を必要としている家族×お世話をするこの大変さ	51
(8)	お世話を必要としている家族×お世話について相談した経験	52
(9)	お世話を必要としている家族×お世話について相談していない理由	52
(10)	お世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと	53
(11)	お世話を必要としている家族×代わってほしいお世話の内容	53
5	お世話をするこの大変さによるお世話の状況の違い	54
(1)	お世話をするこの大変さ×お世話している理由	54
(2)	お世話をするこの大変さ×お世話の内容	56
(3)	お世話をするこの大変さ×お世話をしていることで経験したこと	58
(4)	お世話をするこの大変さ×お世話について相談した経験	58
(5)	お世話をするこの大変さ×お世話について相談していない理由	59
(6)	お世話をするこの大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと	59
(7)	お世話をするこの大変さ×自分のことについて希望する相談方法	60
(8)	お世話をするこの大変さ×家族のお世話について希望する相談方法	60
6	お世話についての相談の状況	61
(1)	お世話について相談した経験×お世話をしていることで経験したこと	61
7	ヤングケアラーの自己認識による生活状況、お世話の状況の違い	62
(1)	ヤングケアラーの自己認識×健康状態	62
(2)	ヤングケアラーの自己認識×学校への出欠状況	62
(3)	ヤングケアラーの自己認識×学校への遅刻や早退の状況	63
(4)	ヤングケアラーの自己認識×普段の学校生活などであてはまること	63
(5)	ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みごと	64
(6)	ヤングケアラーの自己認識×お世話を一緒にしている人	64
(7)	ヤングケアラーの自己認識×お世話をしている頻度	65

(8) ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりにお世話に費やす時間	65
(9) ヤングケアラーの自己認識×お世話をしていることで経験したこと	66
(10) ヤングケアラーの自己認識×お世話をすることの大変さ	66
(11) ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談した経験	67
(12) ヤングケアラーの自己認識×お世話の悩みについての相談相手	67
(13) ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談していない理由	68
(14) ヤングケアラーの自己認識×学校や周りの大人にしてもらいたいこと	68

第4章 調査結果取りまとめ・考察..... 69

1 調査結果取りまとめ	69
(1) お世話をしている子どもの割合	69
(2) お世話を必要としている家族の状況	69
(3) 家族構成によるお世話の状況や負担感の違い	71
(4) 性別によるお世話の状況の違い	72
(5) お世話に関する相談状況	73
(6) 長時間のお世話による心身や学校生活等への影響	73
(7) ヤングケアラーの自己認識による違い	74
(8) 学校や周りの大人にしてもらいたいこと	74
(9) 代わってほしいお世話の内容	75
2 考察	76
(1) ヤングケアラー支援実施の必要性	76
(2) 既存の福祉サービスの活用を促進することの必要性	76
(3) 既存の福祉サービスでは解決できないニーズの存在	77
(4) 支援を行ううえで留意すべき事項	78
(5) 円滑な支援の実施のための体制等の構築	79

資料編..... 81

1 調査票	81
-------	----

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、福島県におけるヤングケアラーと思われる子どもに関する状況を把握するため、小学生、中学生、高校生に対して実態調査を実施し、ヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を行うための資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象

県内の小学校5～6年生、中学校全学年、高校全学年の児童・生徒

①小学校	学校数	397校	児童・生徒数	28,972人
②中学校	学校数	220校	児童・生徒数	45,543人
③高校	学校数	97校	児童・生徒数	44,563人

合計 119,078人

※本調査は、調査票における設問「問3 家族の中で、あなたが「お世話」をしている人はいますか。」で「いる」と回答した方を集計対象とし分析した。

3 回答方法

対象の学校へ児童・生徒向けの調査票を送付し、学校を通じて配布・回収

4 調査時期

令和4年9月～令和4年11月

5 回収結果

【図表1 回収状況】

対象区分	対象者数	総回収数	該当者数	該当率
小学5～6年生	28,972人	24,858人	1,986人	8.0%
中学生	45,543人	39,258人	2,417人	6.2%
高校生（全日制）	43,092人	37,666人	1,581人	4.2%
高校生（定時制、通信制）	1,471人	607人	65人	10.7%
合計	119,078人	102,389人	6,049人	5.9%

※該当率とは、調査票における設問「問3 家族の中で、あなたが「お世話」をしている人はいますか。」で「いる」と回答した方の人数

6 調査主体

福島県保健福祉部こども未来局児童家庭課

7 配布・回収、集計・分析

株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

8 報告書の見方

- 調査数 (n=number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のこと。
- 比率 (%) はすべて「調査数」を基数として算出している。表示は小数点第2位で四捨五入し、第1位までとなっており、そのため比率の合計が100%を上下する場合がある。
- 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問（複数回答）でも比率は同様に算出しているため、回答合計は回答者数（100%）を超える場合がある。
- 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

第2章 調査結果

1 基本情報

(1) 性別

回答者の性別は、以下の通り。

【図表2 性別】

	調査数 (n)	男	女	その他	答えたくない	無回答
小学5～6年生	1,986	53.3	44.1	0.1	1.7	0.9
中学生	2,417	48.1	48.2	0.7	2.1	0.8
高校生(全日制)	1,581	43.4	52.9	0.6	2.3	0.7
高校生(定時制、通信制)	65	27.7	67.7	0.0	4.6	0.0

(2) 同居家族

回答者の同居家族は、いずれの学校種でも「お母さん」が9割前後と最も高く、小学5～6年生と中学生では、次いで「お父さん」が8割台となっている。

【図表3 同居家族(複数回答)】

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
小学5～6年生	1,986	96.2	85.1	31.2	23.5	42.1	76.3	4.1	0.5
中学生	2,417	96.0	81.9	34.4	25.1	41.8	75.2	6.3	0.4
高校生(全日制)	1,581	93.1	77.5	34.0	23.8	31.9	66.9	8.1	0.1
高校生(定時制、通信制)	65	89.2	55.4	21.5	10.8	47.7	69.2	12.3	1.5

2 家庭や家族のことについて

(1) お世話を必要としている家族

お世話を必要としている家族については、いずれの学校種でも「弟・妹」が最も高くなっている。特に、小学5～6年生と中学生は6割以上と高校生（全日制）に比べて高くなっている。

【図表4 お世話を必要としている家族（複数回答）】

	調査数（n）	お母さん	お父さん	あばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	その他	回答不明	無回答
小学5～6年生	1,986	22.1	12.8	14.3	7.8	5.7	62.9	3.2	0.0	4.7
中学生	2,417	17.9	9.5	14.9	8.7	5.9	62.6	3.4	0.0	3.6
高校生（全日制）	1,581	16.6	8.3	17.8	8.9	5.1	53.3	4.9	0.0	3.7
高校生（定時制、通信制）	65	23.1	9.2	12.3	6.2	4.6	53.8	9.2	0.0	3.1

(2) お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由

お世話を必要としている家族として「お母さん」、「お父さん」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、高校生（全日制）は「身体障がい」、「こころの病気（うつ病など疑いも含む）」、「こころの病気、依存症以外の病気」が他の学校種に比べて高くなっている。

「わからない」は年齢が下がるにしたがって高くなり、高校生（全日制）は11.0%、中学生は20.6%、小学5～6年生は27.3%と、小学5～6年生、中学生の2割程度が理由がわからないままお世話をしている。

【図表5 お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由（複数回答）】

	調査数（n）	高齢（65歳以上）	介護（食事や身の回りのお世話）が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気（うつ病など疑いも含む）	抱えてやめられない。疑いも含む）	依存症（お酒やギャンブルなど）	病気のほか、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	回答不明	無回答
小学5～6年生	466	2.4	6.9	0.4	1.9	0.4	3.4	1.9	3.4	3.6	12.0	27.3	28.1	11.8	
中学生	475	1.5	5.3	0.8	7.4	0.8	6.5	2.3	6.1	5.5	14.9	20.6	27.8	8.6	
高校生（全日制）	318	1.6	5.0	1.9	15.1	0.6	14.8	4.1	10.4	6.6	14.2	11.0	19.2	6.6	
高校生（定時制、通信制）	17	11.8	0.0	5.9	17.6	0.0	17.6	11.8	17.6	17.6	0.0	5.9	17.6	0.0	

(3) お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容

お世話を必要としている家族として「お母さん」、「お父さん」と回答した人に、お世話の内容を聞いたところ、いずれの学校種でも「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高くなっている。

「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話をしている人もおり、「入浴やトイレのお世話」や「薬の管理」は概ね年齢が上がるにしたがって高くなっている。

【図表6 お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (掃除、 洗濯の 準備)	送り 迎え	入浴 や トイレ のお 世話	買 物 や 散 歩 に 一 緒 に 行 く	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	通 訳 (日 本 語 や 手 話 な ど)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	466	57.3	9.0	6.0	26.2	8.2	22.3	12.9	3.4	5.8	4.1	1.5	18.5	6.4
中学生	475	60.2	7.4	5.9	24.6	7.6	23.8	10.9	6.3	4.2	4.4	1.7	14.7	4.8
高校生(全日制)	318	62.3	6.0	7.5	28.6	8.2	28.3	18.6	4.7	3.8	4.7	3.1	9.7	3.8
高校生(定時制、通信制)	17	58.8	5.9	5.9	47.1	23.5	41.2	17.6	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9

(4) おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由

お世話を必要としている家族として「おばあさん」、「おじいさん」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、いずれの学校種でも「高齢（65歳以上）」が最も高く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」となっている。高校生（全日制）は「身体障がい」が他の学校種に比べて高くなっている。

「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「認知症」は年齢が上がるにしたがって高くなっている。

【図表7 おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	高 齢 (6 5 歳 以 上)	介 護 (食 事 や 身 の 回 り の お 世 話 が 必 要)	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	こ こ ろ の 病 気 (う つ 病 な ど 疑 い も 含 む)	抱 え て や め ら れ ず 生 活 に 問 題 を な お す 病 気 (う つ 病 な ど 疑 い も 含 む)	依 存 症 (お 酒 や ギ ヤ ン プ ル を な お す 病 気 (う つ 病 な ど 疑 い も 含 む)	こ こ ろ の 病 気 (う つ 病 な ど 疑 い も 含 む)	日 本 語 が 苦 手	そ の 他	わ か ら な い	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	335	50.7	17.6	11.3	10.7	1.5	1.2	0.9	6.9	0.3	4.8	13.1	14.0	5.1	
中学生	460	60.7	25.7	16.7	11.5	1.1	1.5	2.4	7.2	0.4	3.9	5.7	11.7	3.0	
高校生(全日制)	365	67.1	33.7	22.7	18.4	0.8	2.2	0.5	5.8	1.4	2.7	3.6	6.3	2.2	
高校生(定時制、通信制)	11	54.5	54.5	36.4	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	

(5) おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容

お世話を必要としている家族として「おばあさん」、「おじいさん」と回答した人に、お世話の内容を聞いたところ、中学生と高校生（全日制）は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が小学5～6年生に比べて高くなっている。さらに、高校生（全日制）は「話を聞く」、「見守り」も高くなっている。小学5～6年生は「買い物や散歩と一緒にいく」が高くなっている。

「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話をしている人もおり、「入浴やトイレのお世話」は年齢が上がるにしたがって高く、「病院へ一緒に行く」や「薬の管理」も他の学校種に比べて高校生（全日制）が高くなっている。

【図表8 おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	や家事 掃除、洗濯 の準備	送り 迎え	世 話 入 浴 や ト イ レ の お	緒 に 行 く 物 や 散 歩 に 一	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	話 通 訳 （ 日 本 語 や 手 話 な ど ）	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	335	33.4	9.0	6.9	31.3	7.8	30.1	32.2	1.2	2.1	10.1	3.0	14.0	5.1
中学生	460	41.1	5.9	7.4	22.8	5.2	38.5	35.7	1.7	1.7	9.1	3.5	11.3	3.7
高校生（全日制）	365	43.6	2.2	10.4	17.5	10.1	48.5	44.7	3.8	2.2	12.9	5.8	6.6	2.5
高校生（定時制、通信制）	11	36.4	9.1	9.1	18.2	9.1	45.5	81.8	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	9.1

(6) 兄、あるいは姉をお世話している理由

お世話を必要としている家族として「兄」、「姉」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、中学生と高校生（全日制）は「知的障がい」が高くなっている。

高校生（全日制）は「身体障がい」、「知的障がい」を合わせると5割以上が障がいのある兄あるいは姉のお世話をしている。

「わからない」は年齢が下がるにしたがって高くなり、高校生（全日制）は9.9%、中学生は14.0%、小学5～6年生は20.4%と、父母のお世話をしている理由と同様に小学5～6年生の約2割が理由がわからないままお世話をしている。

【図表9 兄、あるいは姉をお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	う 自 分 よ り 幼 い と 思	必 要 回 り の お 世 話 や 身 が の	介 護 （ 食 事 や 身 の	身 体 障 が い	知 的 障 が い	気 病 含 む （ こ こ ろ の 病	日 本 語 が 苦 手	そ の 他	わ か ら な い	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	113	8.8	4.4	8.0	9.7	6.2	1.8	11.5	20.4	32.7	8.0	
中学生	143	8.4	4.2	9.8	20.3	9.1	2.1	9.8	14.0	29.4	7.7	
高校生（全日制）	81	12.3	12.3	22.2	32.1	11.1	6.2	4.9	9.9	16.0	7.4	
高校生（定時制、通信制）	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	

(7) 兄、あるいは姉のお世話の内容

お世話を必要としている家族として「兄」、「姉」と回答した人に、お世話の内容を聞いたところ、小学5～6年生と中学生は「話を聞く」が最も高く、高校生（全日制）は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高くなっている。また、高校生（全日制）は「見守り」が他の学校種に比べて高くなっている。

「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話をしている人もおり、高校生（全日制）は「入浴やトイレのお世話」が1割以上と他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 10 兄、あるいは姉のお世話の内容（複数回答）】

（%）

	調査数 (n)	や家事 (掃除、 洗濯の 準備)	送り 迎え	世入 話浴 やト イレ のお	緒買 に行 物や 散歩 に一	病 院へ 一緒 に行 く	話 を聞 く	見 守り	話通 訳な (日 本語 や手	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	113	19.5	9.7	9.7	18.6	4.4	26.5	17.7	3.5	5.3	5.3	3.5	26.5	8.8
中学生	143	23.8	4.2	4.2	12.6	3.5	35.7	26.6	0.0	3.5	4.2	3.5	23.1	7.7
高校生（全日制）	81	39.5	1.2	12.3	17.3	3.7	27.2	32.1	9.9	1.2	3.7	7.4	9.9	2.5
高校生（定時制、通信制）	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

(8) 弟や妹をお世話している理由

お世話を必要としている家族として「弟」、「妹」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、いずれの学校種でも「幼い」が最も高く、中学生、高校生（全日制）は7割以上、小学5～6年生は6割以上となっている。

高校生（全日制）は「身体障がい」、「知的障がい」を合わせると約1割が障がいのある弟・妹のお世話をしている。

【図表 11 弟や妹をお世話している理由（複数回答）】

（%）

	調査数 (n)	幼 い	必 要 回 り 介 護 の (食 事 や 身 が の	身 体 障 が い	知 的 障 が い	気 病 含 気 む (こ こ ろ の 病	日 本 語 が 苦 手	そ の 他	わ か ら な い	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	1,250	63.4	6.2	1.1	2.7	1.5	2.1	10.5	9.4	7.5	5.4
中学生	1,512	74.9	4.4	1.5	4.6	1.4	2.1	8.9	5.4	6.0	2.2
高校生（全日制）	842	75.7	3.8	2.7	8.4	2.7	2.1	6.3	4.8	3.2	2.5
高校生（定時制、通信制）	35	71.4	0.0	5.7	5.7	5.7	2.9	8.6	5.7	2.9	5.7

(9) 弟や妹のお世話の内容

お世話を必要としている家族として「弟」、「妹」と回答した人に、お世話の内容を聞いたところ、いずれの学校種でも「見守り」が最も高くなっている。

「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」、「見守り」は年齢が上がるにしたがって高くなっている。

「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話をしている人もおり、概ね年齢が上がるにしたがって高くなっている。

【図表 12 弟や妹のお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (食事の準備 や掃除、洗濯)	送り 迎え	入浴 や トイレの お世話	買 物 や 散 歩 に 一 緒 に 行 く	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	通 話 な ど (日 本 語 や 手 話)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	1,250	14.6	5.1	24.2	16.6	1.4	30.4	61.1	1.9	2.2	1.2	11.7	6.7	3.4
中学生	1,512	23.4	5.1	32.2	25.1	1.3	39.7	68.0	1.5	2.2	2.0	9.0	5.3	1.4
高校生(全日制)	842	33.6	7.0	36.7	31.4	2.3	42.9	69.5	1.9	2.3	3.3	6.3	1.8	1.4
高校生(定時制、通信制)	35	51.4	25.7	25.7	28.6	2.9	51.4	74.3	0.0	2.9	5.7	5.7	0.0	0.0

(10) お世話を一緒にしている人

お世話を一緒にしている人については、いずれの学校種でも「お母さん」が最も高くなっており、家族や親戚以外の「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」は1割未満にとどまる。一方で、「自分だけで世話をしている」はいずれの学校種でも1割程度となっている。

【図表 13 お世話を一緒にしている人（複数回答）】

	調査数 (n)	お 母 さ ん	お 父 さ ん	お ば あ さ ん	お じ い さ ん	兄 ・ 姉	弟 ・ 妹	親 戚 の 人	用 ル 福 祉 サ ー ビ ス な ど (ヘ ル パ ー な ど) を 利 用	そ の 他	自 分 だ け で 世 話 を し て い る	回 答 不 明	無 回 答
小学5～6年生	1,986	58.2	41.6	18.1	10.9	21.3	17.7	3.1	1.5	0.8	8.2	11.1	5.5
中学生	2,417	64.0	44.6	17.2	9.7	23.1	21.1	3.8	4.3	1.1	7.3	9.1	3.9
高校生(全日制)	1,581	63.9	45.5	15.3	10.4	18.3	22.0	4.3	6.4	1.1	9.4	7.0	2.8
高校生(定時制、通信制)	65	58.5	35.4	13.8	4.6	29.2	21.5	6.2	3.1	3.1	13.8	3.1	1.5

(11) お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、いずれの学校種でも「ほぼ毎日」が4割以上と最も高く、「週3～5日」も2割前後いることから、6割以上が平日にお世話をしていることがうかがえる。

【図表 14 お世話をしている頻度】

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
小学5～6年生	1,986	48.1	16.5	13.4	5.8	1.5	9.7	5.1
中学生	2,417	45.0	20.0	15.8	6.5	2.0	7.9	2.7
高校生（全日制）	1,581	45.7	17.7	16.8	8.6	2.6	6.0	2.6
高校生（定時制、通信制）	65	47.7	21.5	16.9	3.1	4.6	4.6	1.5

(12) 平日1日あたりにお世話を費やす時間

平日1日あたりにお世話を費やす時間については、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「2時間未満」が最も高くなっている。「5時間未満」、「7時間未満」、「7時間以上」を合わせた『3時間以上』は、いずれの学校種でも2割台となっている。

【図表 15 平日1日あたりにお世話を費やす時間】

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	無回答
小学5～6年生	1,986	1.9	3.2	25.3	14.2	15.0	8.8	1.6	30.0
中学生	2,417	2.1	4.9	28.7	18.0	16.5	4.7	1.0	24.1
高校生（全日制）	1,581	1.6	6.5	30.4	18.1	15.9	4.6	0.7	22.3
高校生（定時制、通信制）	65	0.0	1.5	12.3	18.5	24.6	7.7	3.1	32.3

第2章 調査結果

(13) お世話をしていることで経験したこと

お世話をしていることで経験したことについては、いずれの学校種でも「特にない」が最も高くなっているが、その他では「自分の時間が取れない」が高くなっている。

【図表 16 お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数 (n)	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題などがない勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾や習い事ができ	部活動ができない	な自分の時間が取れ	その他	特にない	回答不明	無回答
小学5～6年生	1,986	4.1	4.1	9.6	7.0	5.4	1.2	0.5	12.8	0.6	57.3	10.1	7.2
中学生	2,417	2.7	3.3	11.7	7.5	6.2	0.8	1.9	15.8	1.0	61.9	7.6	4.1
高校生（全日制）	1,581	4.4	3.7	12.4	8.8	8.7	0.6	3.2	18.0	1.0	61.5	5.5	3.2
高校生（定時制、通信制）	65	16.9	16.9	15.4	15.4	18.5	1.5	4.6	32.3	0.0	44.6	3.1	4.6

(14) お世話をすることの大変さ

お世話をすることの大変さについては、いずれの学校種でも「特に大変さは感じていない」が最も高くなっているが、その他では「気持ちの面で大変」が高くなっている。小学5～6年生は「体力の面で大変」、高校生（全日制）は「気持ちの面で大変」が他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 17 お世話をすることの大変さ（複数回答）】

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	て特にな大変さは感じ	回答不明	無回答
小学5～6年生	1,986	14.3	16.6	13.3	50.9	10.2	6.4
中学生	2,417	10.9	19.1	15.0	56.1	8.2	3.1
高校生（全日制）	1,581	8.9	25.2	13.9	56.3	6.0	3.0
高校生（定時制、通信制）	65	16.9	36.9	23.1	41.5	3.1	6.2

(15) お世話について相談した経験

お世話について相談した経験は、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「ない」が7割以上と最も高くなっている。

【図表 18 お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	(%)			
		ある	ない	回答不明	無回答
小学5～6年生	1,986	12.8	72.5	10.0	4.7
中学生	2,417	10.8	77.9	8.5	2.9
高校生（全日制）	1,581	13.2	79.0	5.6	2.3
高校生（定時制、通信制）	65	24.6	67.7	1.5	6.2

(16) お世話の悩みについての相談相手

お世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、お世話の悩みについての相談相手を聞いたところ、いずれの学校種でも「お母さん」が最も高くなっているが、高校生（全日制）は4割台と他の学校種に比べて低くなっている。小学5～6年生は次いで「お父さん」、「友達」となっている。中学生、高校生（全日制）は次いで「友達」となっている。

「学校の先生」、「保健室の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」は小学5～6年生に比べて中学生、高校生（全日制）で高くなっており、特に「保健室の先生」は年齢が上がるにしたがって高くなっている。小学5～6年生は「お母さん」、「お父さん」など家族に該当するものが高くなっており、その他は低くなっている。

【図表 19 お世話の悩みについての相談相手（複数回答）】

	調査数 (n)	(%)													
		お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー スクールカウンセラー	親戚（おじ、おばなど）の人	友達	病院・医療・福祉サービス （ヘルパーなど）の人	近所の人	SNS上での知り合い	無回答
小学5～6年生	254	68.5	34.6	17.3	11.8	16.5	15.0	5.5	4.3	5.9	24.4	2.4	2.4	2.4	1.6
中学生	261	58.6	21.8	11.1	5.4	13.0	20.3	8.0	14.6	6.1	33.3	3.4	1.5	9.2	1.1
高校生（全日制）	208	47.6	21.6	12.5	3.4	18.3	20.2	10.6	13.0	9.6	39.4	4.3	1.0	7.7	2.4
高校生（定時制、通信制）	16	56.3	12.5	12.5	0.0	18.8	25.0	18.8	31.3	6.3	50.0	6.3	0.0	6.3	0.0

(17) お世話について相談していない理由

お世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、いずれの学校種でも「相談するほどの悩みではないから」が最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」が高くなっている。「誰に相談するのがよいかわからないから」、「相談できる人がいないから」は小学5～6年生が他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 20 お世話について相談していない理由（複数回答）】

	調査数（n）	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	その他	無回答
小学5～6年生	1,440	73.5	5.0	3.3	4.4	10.1	9.4	3.7	
中学生	1,882	82.7	3.8	2.3	2.8	12.7	5.0	2.1	
高校生（全日制）	1,249	80.4	2.9	2.6	3.4	15.3	3.8	1.9	
高校生（定時制、通信制）	44	84.1	6.8	2.3	0.0	15.9	2.3	4.5	

(18) 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、いずれの学校種でも「特になし」が約6割となっているが、その他では、小学5～6年生は「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、中学生は「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、高校生（全日制）は「自由に使える時間がほしい」が高くなっている。高校生（全日制）は「お金の面で支援してほしい」が他の学校種に比べて高くなっている。

少数ながら「家族のお世話について相談にのってほしい」、「家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい」などヤングケアラー該当者ならではの支援を求めている人がいる。

【図表 21 学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数（n）	自分が行っているお世話を代わってほしい	自分のお世話を聞いてほしい	家族のお世話を聞いてほしい	家族の病気や障がいについて説明してほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特になし	わからない	無回答
小学5～6年生	1,694	9.4	7.1	2.6	1.8	9.4	8.9	1.5	0.7	60.3	4.1	7.8
中学生	2,143	5.1	6.0	2.2	2.3	10.7	11.2	3.7	0.8	62.9	4.0	5.7
高校生（全日制）	1,457	4.0	4.9	2.7	3.4	8.9	5.4	6.2	0.8	62.4	4.1	10.0
高校生（定時制、通信制）	60	6.7	6.7	3.3	1.7	11.7	6.7	6.7	0.0	60.0	10.0	6.7

(19) 代わってほしいお世話の内容

学校や周りの大人にしてもらいたいことについて「自分が行っているお世話を代わってほしい」と回答した人に、代わってほしいお世話の内容について聞いたところ、小学5～6年生と高校生（全日制）は「見守り」が最も高くなっている。中学生は「食事の準備」、「見守り」が最も高くなっている。

「トイレのお世話」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話は、年齢が上がるにしたがって高くなっている。さらに、高校生（全日制）は「入浴のお世話」が約3割、「トイレのお世話」が約2割と他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 22 代わってほしいお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	掃除	食事の 準備	洗濯	買い物	送り 迎え	入浴の お世話	トイレの お世話	散歩に 一緒に行 く	病院に 一緒に行 く	話を聞 く	見守り	通訳（日 本語や手 話など）	お金の 管理	薬の 管理	その他	無 回 答
小学5～6年生	160	28.1	18.1	16.3	11.9	3.8	20.6	9.4	9.4	5.6	20.0	41.3	0.0	2.5	3.1	10.0	2.5
中学生	110	28.2	38.2	28.2	10.0	2.7	17.3	13.6	7.3	0.9	29.1	38.2	3.6	4.5	6.4	4.5	0.9
高校生（全日制）	59	25.4	28.8	13.6	15.3	6.8	30.5	20.3	8.5	8.5	20.3	44.1	13.6	1.7	6.8	8.5	0.0
高校生（定時制、通信制）	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(20) 自分のことについて希望する相談方法

学校や周りの大人にしてもらいたいことについて「自分のことについて話を聞いてほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、いずれの学校種でも「直接会って」が最も高くなっている。中学生は「電話」、「SNS」が約3割、高校生（全日制）は「電話」が約3割、「SNS」が4割弱と小学5～6年生に比べて高くなっている。

【図表 23 自分のことについて希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接 会 っ て	電 話	S N S	電 子 メ ー ル	そ の 他	無 回 答
小学5～6年生	120	70.0	23.3	15.8	12.5	3.3	2.5
中学生	128	61.7	28.9	29.7	13.3	3.1	5.5
高校生（全日制）	72	65.3	31.9	37.5	8.3	0.0	2.8
高校生（定時制、通信制）	4	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(21) 家族のお世話について希望する相談方法

学校や周りの大人にしてもらいたいことについて「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、自分の相談方法と同様、いずれの学校種でも「直接会って」が最も高くなっている。小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「電話」が約3割、高校生（全日制）は「SNS」が約4割と他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 24 家族のお世話について希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子 メール	その他	(%) 無 回 答
小学5～6年生	44	61.4	27.3	9.1	11.4	4.5	11.4
中学生	48	58.3	31.3	35.4	16.7	2.1	6.3
高校生（全日制）	39	56.4	28.2	41.0	12.8	0.0	5.1
高校生（定時制、通信制）	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(22) お世話をしている子どものために、学校や身の回りの大人にしてもらいたいこと

家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や身の回りの大人にしてもらいたいことについての自由記述は2,226件の回答があり、項目ごとに一部抜粋して掲載している。

※原文掲載を基本としつつ、一部を編集の上掲載。

【図表 25 自由記述分類項目表】

項目	件数
①家族のお世話をしている子どものために必要だと思うこと	1,231件
②家族にしてもらいたいこと	172件
③学校や周りの大人にしてもらいたいこと	200件
④自身の気持ちや困っている状況について	436件
⑤その他の意見	105件
⑥分からない/特にない	82件
合計	2,226件

①家族のお世話をしている子どものために必要だと思うこと

意見
誰かが気付くのが一番だと思う。
自分から伝えられない子もいるので、そういったことにいち早く気づけた人が少しでも相談に乗ってあげるくらいはしてほしいと思う。
介護したりするのは身体的にしんどいだけでなく、精神的にも、しんどいということを理解してあげること。
子どもから言い出さない限り気づくのは難しいだろうから、子どもが相談したいと思った時にしやすい環境にしておいてほしい。このような子どもは大人への頼り方が分からなかったり、辛いと思うことも我慢したりする傾向がある。感じているので過度に干渉するのではなく、ゆっくりと信頼関係を築いていってほしい。
家族のお世話をしている人は、なにかしら不満をもっている人が多いと思うから話を聞いてほしい人も多いのではないかと思った。
その人が何か困っていて何かを聞いてほしそだったら、すぐに相談にのってほしい。解決案があるならどんどん言ってほしい。あいづちだけでもいいから話も聞いてほしい。
月1くらいに学校で相談する時間がほしい。
・「ヤングケアラー」の基準がよく分からない人も多いと思うので、話をきちんと聞いてあげること（否定しないこと）が大切だと思う。（自分から話すことができない人もいると思う。）
ある条件にあてはまる人は無償で介護など、お世話をしている子供に代わる人を派遣する。
行政がヤングケアラーを把握して、彼らの代わりにお世話をしてくれる人（デイサービス、ヘルパー）を、通常よりも安い金額で仕事を頼めるようにする。
家計を支えている子どもであれば経済面で支援をしてあげたり、障害や病気を抱える家族がいる子なら学校に行っていたり勉強している時間に預かる施設が必要だと思う。
施設の料金を安くする。
お世話が必要な人が家族にいる場合、介護施設等へ入りやすくするための工夫をしてほしい（お金の面など）。
介護サービスをより充実させ、病院との連携を図ってほしい。
デイサービスや介護施設に入れられるお金がないので、その他に何か出来ることがあれば教えてほしいです。
学校の他にも自由な時間を確保できるように、訪問看護などの制度を、もっと利用しやすいものにする必要があるのかなと思う。
誰でも利用しやすいような支援制度をつくる。身の回りの人は見て見ぬふりをしない。
ヘルパーさんやお手伝いさんに気軽に相談できたり、補助をしてもらうことができると思う。まわりの人も気づいたら声をかけてあげるなど。
アル中なので、精神病院などに入れる際の金銭的支援で、働ける体ではないので、それに関する援助金。

②家族にしてもらいたいこと

意見
子どもは耐えるしかない大人たちには全部やれとはいわないから、半分くらいでも労わってほしい。
大人も少しは、まかせずなるべく手伝うべきだと思う。学生であつたら勉強も部活も自分の時間が必要になってくるので、大人は子どもにまかせすぎないでほしい。
丁寧で優しい言葉で注意や会話をしてほしい。きつくいわないと、わからないのはあるが、必要以上という感情のせいぎよがきかず激しく怒り、泣きます。
お母さんとお父さんが、病気だつたらしょうがないかもしれないけど、中毒やほつたらかしなどは、もう大人なんだから、やってはいけないと思うので、しっかりお世話をしたほうがいいと思う。
自分がしていることを忘れると、お母さんは元気なのに怒ってくる（お母さんはスマホを見ている）から少し変わってほしい時がある。
ちゃんとそうじしてほしい。洗濯とか毎日して、ごはんも何にかしら作ってほしい。休みの日ずっとねてんじゃねーよ。
お金の管理はお母さんにしてもらいたい。
おねむり（妹）のときが、たいへんだから大人にしてもらいたい。
家族のお世話をしていることで、勉強が集中できなかつたりするので、1時間でもいいから時間がほしい。まだ弟の心の病気について、詳しくわからないので教えてもらいたい。

③学校や周りの大人にしてもらいたいこと

意見
世話している家族の状態によっては体力的にキツかつたり、汚かつたり疲れたりすると思う。世話を手伝ってくれる人や、話をきいてくれる人がいたり、学校生活が不自由になっているなら先生が、それを理解して酌量してあげることが必要だと思う。
家族の世話で学校に遅れてしまつても、遅刻あつかいにしない。（早退も同じ）お金の面の支援をする。
家族の世話などで休んだ人に悪言をいわないというような環境を作してほしい。
お世話のたいへんさを知ってほしい。認知症の世話がどれだけ、たいへんか知ってほしい（とくに学校の教師）。
もし、子どもが誰かのお世話をしていて、自分の時間がなくなつたりしているのなら、周りの大人が何か手伝えることはないか、何か困りごとはないか、そういうのをきちんと見てあげてほしい。それで、お世話していね人が、その子どもしかいないときは、学校側にも、たくさん協力してもらい、色々な援助をしてほしい。
その事が触れるべきことなのかの見きわ目は難しい。ほつといしてほしい人もいると思う。間違つて触れてしまい傷付けることもあると思う。そのためどのような対応をするべきなのかは、その子によって変わる。1人1人に合った対応が必要になるため、優しさの押し付けのようにならないようにしてほしい。
状況や、その子どもの精神状態によると思うが、あからさまな対応をされたり、急に支援されても、とまどつたりしてしまうと思うから、まずは、その子どもとのコミュニケーションをとつて、様々な面を見た上で、つらかつたら逃げ道があることを教えてあげたら良いと思う。
学校に行けなかつた時の授業内容を教えてもらいたい。
家族のお世話などで勉強時間がなく、勉強ができないということを理解してもらいたいです。（ただ勉強をやりたくないからやっていないとかん違いしてほしくないからです。）
外国人の母が1人で読むことができる英語で書かれたプリントなどを作ってほしいと思っている。

④自身の気持ちや困っている状況について

意見
お手伝いを手伝ってほしい。
人事だと思わないでほしい。
まだ「子ども」だということをわかってほしい。
相談に乗ってもらっても家庭環境が荒れている事に違いはないから、もう何でもいい。
同情してほしいわけではない。大人だけが、つかれているわけではない。大人は仕事で疲れているのかもしれないが、子供は子供なりに毎日忙しいことを、頭に入れておいてほしい。
・話しやすい、相談しやすい環境。・精神面で支えてくれる人が欲しい。
・ひきとってもらいたい・病院につれていって入院させてほしい
うつ病でも入院させてほしい。
質問です。私の父が足が痛くて不自由なのですが、歩けはするのですが私は足に負担がかかるため、あまり動かさたくなくて料理以外は全般やっています。ですが、それは介護なのでしょうか？ヤングケアラーなのかもあいまいです。どうなのでしょうか…。
発達障害を患う弟への会話のしかたや対処のしかた、パニックを引き起こしたときの対処法などを具体的に教えてほしいと同時に、障害を患う方の環境に身を投じて現状を知ってほしい。
ばあちゃんをデイサービスに連れて行きたくても、ばあちゃんの気分などによって、1ヶ月行かない日もあり、その分、家に居る人に負担が大きくなってしまいます。ばあちゃんを施設に入れたくても、毎月の高額なお金をはらうことはできないので、もっと気軽に、おばあちゃんをあずけられるところがほしいです。
土日などがあいていると、お世話をしにいたりしないといけないので、無理だけど月に1回は家で必ず、ゆっくりする日という日があったらいいです。

⑤その他意見

意見
もっと多くの人に、ヤングケアラーの事を知ってほしい。
県などの自治体で、子どもたちに知ってもらえる形で、もっと活動を広げていくべき。自分が、この事態を知らない=他の人も知らない人は多くいる(ヤングケアラーは知っている)。
もう少し障がい者のために尽くしてほしい。障がい者に優しい社会にしてほしい。
身体障害への後いしょうが残らず、なるべく早く治すことができる方法を確立してほしい。また、家族のお世話している子たちへ支援をしてほしい。
その病気について、くわしく教えてほしい。

3 普段の生活について

(1) 健康状態

健康状態については、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「よい」が最も高くなっており、「よくない」、「あまりよくない」を合わせた『よくない』は1割程度となっている。

【図表 26 健康状態】

	調査数 (n)	← よい →		← よくない →			無回答
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
小学5～6年生	1,986	50.0	15.9	24.8	5.6	1.2	2.5
中学生	2,417	46.5	17.5	24.2	8.4	1.8	1.6
高校生（全日制）	1,581	42.6	19.9	26.5	7.5	2.0	1.5
高校生（定時制、通信制）	65	23.1	13.8	43.1	13.8	4.6	1.5

(2) 学校への出欠状況

学校への出欠状況については、いずれの学校種でも「ほとんど欠席しない」が最も高くなっている。

【図表 27 学校への出欠状況】

	調査数 (n)	（％）			無回答
		いほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	
小学5～6年生	1,986	66.1	28.7	3.4	1.9
中学生	2,417	68.8	25.3	4.6	1.3
高校生（全日制）	1,581	73.4	22.0	3.4	1.2
高校生（定時制、通信制）	65	46.2	38.5	13.8	1.5

(3) 学校への遅刻や早退の状況

学校への遅刻や早退の状況については、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「ほとんどしない」が最も高くなっている。

【図表 28 学校への遅刻や早退の状況】

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無 回 答
小学5～6年生	1,986	72.3	22.4	3.4	1.9
中学生	2,417	73.1	20.8	4.5	1.7
高校生（全日制）	1,581	76.5	19.5	2.7	1.3
高校生（定時制、通信制）	65	46.2	46.2	7.7	0.0

(4) 普段の学校生活などであてはまること

普段の学校生活などであてはまることについては、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）は「特にない」が最も高くなっているが、その他では、小学5～6年生は「持ち物の忘れ物が多い」、中学生は「提出物を出すのが遅れることが多い」、高校生（全日制）は「授業中に寝てしまうことが多い」が高くなっている。

【図表 29 普段の学校生活などであてはまること（複数回答）】

	調査数 (n)	授業中に寝てしま	宿題が多すぎていな	持ち物の忘れ物が	部活動をやる機会が	提出物を出すが多い	修学旅行などの宿	保健室で過ごすこ	学校では一人で過	友達と遊んだりす	特にない	無 回 答
小学5～6年生	1,986	6.6	16.3	29.4	3.8	19.5	0.7	1.4	5.3	5.8	49.6	5.2
中学生	2,417	22.9	21.3	27.2	6.1	31.0	0.7	2.4	7.8	6.7	42.7	3.4
高校生（全日制）	1,581	35.4	13.8	18.7	3.5	19.5	1.6	1.3	5.4	5.3	45.2	4.2
高校生（定時制、通信制）	65	40.0	13.8	16.9	3.1	21.5	3.1	7.7	9.2	6.2	38.5	1.5

(5) 部活動や塾、習い事などへの参加状況

部活動や塾、習い事などへの参加状況については、中学生は「はい」が約8割で他の学校種に比べて高くなっている。小学5～6年生と高校生（全日制）は「はい」が6割前後となっている。

【図表 30 部活動や塾、習い事などへの参加状況】

	調査数 (n)	はい	いいえ	(%) 無回答
小学5～6年生	1,986	63.2	35.2	1.6
中学生	2,417	79.8	19.1	1.1
高校生（全日制）	1,581	58.1	40.7	1.2
高校生（定時制、通信制）	65	16.9	81.5	1.5

(6) 現在の悩みごと

現在の悩みごとについては、いずれの学校種でも「特にない」が最も高くなっているが、その他では、小学5～6年生と中学生は「友達のこと」、「学校の成績のこと」が高く、高校生（全日制）は「学校の成績のこと」に加え「生活や勉強に必要なお金のこと」も高くなっている。

【図表 31 現在の悩みごと（複数回答）】

	調査数 (n)	友達のこと	学校の成績のこと	部活動や塾、習い事のこと	家族のこと	生活やお金の勉強に必要	自分の時間が少なすぎ	その他	特にない	(%) 無回答
小学5～6年生	1,986	17.6	12.8	6.0	9.6	3.4	5.6	2.6	59.5	4.7
中学生	2,417	20.9	40.1	14.3	12.1	9.6	8.3	3.7	42.3	2.9
高校生（全日制）	1,581	15.7	27.6	11.5	13.0	16.2	7.8	4.1	48.1	2.4
高校生（定時制、通信制）	65	21.5	16.9	0.0	24.6	21.5	13.8	10.8	44.6	3.1

(7) 悩みについて話を聞いてくれる人の有無

現在の悩みがあると回答した人に話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、いずれの学校種でも「いる」が最も高くなっているが、小学5～6年生は「いない」、「話しはしたくない」が他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 32 悩みについて話を聞いてくれる人の有無】

	調査数 (n)	(%)			
		いる	いない	話しはしたくない	無回答
小学5～6年生	711	54.9	15.6	27.3	2.3
中学生	1,325	62.9	10.7	25.1	1.2
高校生(全日制)	782	66.8	13.2	18.5	1.5
高校生(定時制、通信制)	34	61.8	14.7	20.6	2.9

4 ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自己認識

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについては、小学5～6年生は「はい」が11.0%、中学生は9.4%、高校生（全日制）は11.1%と、いずれの学校種でも1割前後となっている。いずれの学校種でも「いいえ」は50%以上、「わからない」は30%以上となっている。

【図表 33 ヤングケアラーの自己認識】

	調査数 (n)	はい	いいえ	わからない	無回答
小学5～6年生	1,986	11.0	53.2	32.8	3.0
中学生	2,417	9.4	58.3	30.5	1.9
高校生（全日制）	1,581	11.1	57.2	30.0	1.7
高校生（定時制、通信制）	65	9.2	41.5	47.7	1.5

(2) 学校内にヤングケアラーと思う人の有無

学校内にヤングケアラーだと思う人がいるかについては、小学5～6年生は「いる」が約1割となっている。

【図表 34 学校内にヤングケアラーと思う人の有無】

	調査数 (n)	いる	いない	知らない	無回答
小学5～6年生	1,986	10.5	28.5	56.9	4.0
中学生	2,417	8.8	24.1	64.4	2.7
高校生（全日制）	1,581	7.4	19.9	70.0	2.7
高校生（定時制、通信制）	65	12.3	20.0	63.1	4.6

(3) ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、いずれの学校種でも「聞いたことはなかった」が最も高くなっているが、高校生（全日制）は「聞いたことがあり、内容も知っている」が3割弱と他の学校種に比べて高くなっている。

【図表 35 ヤングケアラーの認知度】

	調査数 (n)	聞いた 内容も 知があ る	聞いた ことが ある	聞いた ことは ない	無 回 答
小学5～6年生	1,986	11.1	21.3	63.9	3.7
中学生	2,417	18.0	22.1	57.5	2.4
高校生（全日制）	1,581	27.7	18.9	51.0	2.3
高校生（定時制、通信制）	65	16.9	24.6	58.5	0.0

第3章 調査結果追加分析

1 性別によるお世話の状況の違い

(1) 性別×お世話を必要としている家族

性別にみると、男性は女性に比べて「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」、「兄・姉」が高くなっている。女性は男性に比べて「弟・妹」が高くなっている。

【図表 36 性別×お世話を必要としている家族（複数回答）】

	調査数（n）	お母さん	お父さん	あばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	その他	回答不明	無回答
男	2,926	23.0	13.4	17.6	10.2	6.3	54.3	3.5	0.0	5.4
女	2,922	14.7	6.8	13.4	6.6	4.8	65.9	4.1	0.0	2.7
その他	29	17.2	17.2	13.8	10.3	13.8	65.5	6.9	0.0	0.0
答えたくない	124	25.8	16.1	11.3	7.3	8.1	58.1	4.0	0.0	3.2

(2) 性別×お世話の内容

①お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容

性別にみると、「送り迎え」、「お金の管理」以外の項目では男性に比べて女性が上回り、特に「話を聞く」が高くなっている。

【図表 37 性別×お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒にいく	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	回答不明	無回答
男	728	58.4	8.2	6.5	25.4	8.2	20.7	11.3	3.0	5.2	3.3	1.8	17.9	6.5
女	492	62.0	6.3	6.5	28.5	8.5	28.5	16.1	7.7	4.5	6.1	2.4	10.6	3.3
その他	7	57.1	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
答えたくない	39	53.8	12.8	2.6	25.6	2.6	43.6	25.6	7.7	0.0	2.6	2.6	12.8	2.6

②おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容

性別にみると、「送り迎え」、「お金の管理」以外の項目では男性に比べて女性が上回り、特に「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。

【図表 38 性別×おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	世話 入浴やトイレのお	一緒に物や散歩に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	回答不明	無回答
男	646	37.0	5.7	7.0	22.6	7.6	35.4	35.4	1.7	2.6	9.8	4.5	12.8	4.5
女	491	42.4	5.5	9.6	25.3	7.7	44.4	41.8	2.6	1.2	11.6	3.3	7.7	2.2
その他	5	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0
答えたくない	20	50.0	10.0	15.0	15.0	5.0	35.0	35.0	5.0	0.0	20.0	0.0	5.0	15.0

③兄、あるいは姉のお世話の内容

性別にみると、「送り迎え」、「通訳（日本語や手話など）」、「お金の管理」、「薬の管理」以外の項目では男性に比べて女性が上回り、特に「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。

【図表 39 性別×兄、あるいは姉のお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	世話 入浴やトイレのお	一緒に物や散歩に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	回答不明	無回答
男	183	21.9	8.2	7.7	13.1	3.8	26.8	19.7	3.8	4.4	4.4	4.9	28.4	8.2
女	141	32.6	2.1	9.2	19.1	4.3	34.0	31.2	3.5	2.8	4.3	3.5	12.1	5.0
その他	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
答えたくない	10	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0

④弟や妹のお世話の内容

性別にみると、「お金の管理」以外の項目では男性に比べて女性が上回り、特に「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「入浴やトイレのお世話」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。

【図表 40 性別×弟や妹のお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	業の管理	その他	回答不明	無回答
男	1,588	16.8	5.1	24.6	15.7	0.9	30.5	63.8	1.5	2.3	1.2	9.8	6.9	2.8
女	1,926	27.7	6.2	35.0	29.8	2.1	42.1	68.0	1.8	2.3	2.7	8.9	3.2	1.5
その他	19	21.1	0.0	26.3	21.1	0.0	63.2	63.2	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3
答えたくない	72	36.1	11.1	33.3	36.1	4.2	50.0	69.4	4.2	0.0	5.6	4.2	5.6	4.2

(3) 性別×お世話を一緒にしている人

性別にみると、女性は男性に比べて「お母さん」がやや高くなっている。

【図表 41 性別×お世話を一緒にしている人（複数回答）】

	調査数（n）	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	親戚の人	利用サービス（福祉サービスなど）を利へ	その他	自分だけで世話をしている	回答不明	無回答
男	2,926	58.7	43.5	17.0	10.7	20.0	19.5	3.8	3.3	0.7	7.8	12.6	5.2
女	2,922	65.7	44.2	16.9	9.9	23.2	21.1	3.6	4.3	1.2	8.3	5.9	2.9
その他	29	69.0	44.8	13.8	3.4	13.8	13.8	6.9	0.0	3.4	0.0	17.2	3.4
答えたくない	124	49.2	35.5	17.7	7.3	18.5	17.7	4.0	7.3	2.4	16.1	5.6	7.3

(4) 性別×お世話をしている頻度

性別にみると、女性は男性に比べて「ほぼ毎日」が高くなっている。

【図表 42 性別×お世話をしている頻度】

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3 ～ 5日	週に1 ～ 2日	1ヶ月に 数日	その他	回答不明	無回答
男	2,926	41.2	18.5	15.6	7.3	1.9	10.9	4.5
女	2,922	51.0	18.2	15.0	6.5	2.1	5.0	2.2
その他	29	51.7	6.9	24.1	0.0	0.0	13.8	3.4
答えたくない	124	52.4	15.3	11.3	4.0	2.4	7.3	7.3

(5) 性別×平日1日あたりにお世話を費やす時間

性別にみると、男性は女性に比べて「30分未満」、「1時間未満」、「2時間未満」がやや高くなっている。女性は男性に比べて「3時間未満」、「5時間未満」、「7時間未満」、「7時間以上」が高く、女性の方がお世話を費やす時間が長くなっている。

【図表 43 性別×平日1日あたりにお世話を費やす時間】

	調査数 (n)	30分 未満	1時間 未満	2時間 未満	3時間 未満	5時間 未満	7時間 未満	7時間 以上	無回答
男	2,926	2.5	5.7	30.5	15.6	11.9	4.9	0.8	28.2
女	2,922	1.3	3.8	25.6	18.1	19.7	7.2	1.4	22.9
その他	29	3.4	0.0	24.1	17.2	17.2	10.3	3.4	24.1
答えたくない	124	1.6	3.2	19.4	16.1	21.0	6.5	2.4	29.8

(6) 性別×お世話をしていることで経験したこと

性別にみると、女性は男性に比べて「宿題など勉強する時間がない」、「自分の時間が取れない」、「眠る時間が足りない」が高くなっている。

【図表 44 性別×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数 (n)	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題など勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾いや習い事ができ	部活動ができない	ない自分の時間が取れ	その他	特にな	回答不明	無回答
男	2,926	3.3	3.3	6.8	5.4	5.4	0.6	1.4	11.4	0.8	61.6	10.7	6.1
女	2,922	4.0	4.0	15.1	9.2	7.7	1.1	2.2	18.7	0.8	60.0	4.9	3.4
その他	29	10.3	10.3	17.2	10.3	3.4	0.0	0.0	31.0	6.9	41.4	6.9	6.9
答えたくない	124	6.5	8.9	21.8	25.8	12.1	3.2	4.8	33.9	4.0	34.7	7.3	7.3

(7) 性別×お世話をすることの大変さ

性別にみると、女性は男性に比べて特に「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」が高くなっている。

【図表 45 性別×お世話をすることの大変さ（複数回答）】

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	て特にな大変さは感じ	回答不明	無回答
男	2,926	10.4	15.8	11.4	54.9	11.1	5.3
女	2,922	12.4	23.5	16.2	55.1	5.3	2.8
その他	29	13.8	44.8	34.5	17.2	13.8	3.4
答えたくない	124	16.9	33.1	24.2	38.7	6.5	8.9

(8) 性別×お世話について相談した経験

性別にみると、女性は男性に比べて相談した経験が「ある」が高くなっている。

【図表 46 性別×お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	ある	ない	回答不明	無回答
男	2,926	9.1	75.7	10.9	4.2
女	2,922	15.0	77.3	5.4	2.2
その他	29	20.7	65.5	10.3	3.4
答えたくない	124	14.5	71.8	6.5	7.3

(9) 性別×お世話の悩みについての相談相手

性別にみると、男性、女性ともに「お母さん」が最も高くなっている。男性は女性に比べて「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」の家族に相談する割合が高くなっている。女性は男性に比べて「友達」の他に「保健室の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」に相談する割合が高くなっている。

【図表 47 性別×お世話の悩みについての相談相手（複数回答）】

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー やスクールカウンセラー	親戚（おじ、おばなど）の人	友達	病院・医療・福祉サービス （ヘルパーなど）の人	近所の人	SNS上での知り合い	無回答
男	266	64.7	32.3	19.2	10.9	14.3	17.3	2.3	6.4	6.4	22.9	4.5	2.3	5.3	2.6
女	438	56.8	22.8	10.7	4.6	17.4	18.5	11.0	12.1	7.5	37.2	3.0	1.4	6.2	1.1
その他	6	66.7	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	18	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	44.4	0.0	38.9	0.0	0.0	16.7	0.0

(10) 性別×お世話について相談していない理由

性別にみると、男性、女性ともに「相談するほどの悩みではないから」が約8割と最も高くなっている。女性は男性に比べて「相談しても何も変わらないから」がやや高くなっている。

【図表 48 性別×お世話について相談していない理由（複数回答）】

	調査数 (n)	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから	相談するほどの悩みのないから
男	2,216	79.3	3.2	1.4	3.0	10.2	5.9	3.3		
女	2,260	80.0	4.3	3.2	3.7	14.0	6.1	1.9		
その他	19	47.4	10.5	21.1	10.5	36.8	21.1	0.0		
答えたくない	89	65.2	10.1	12.4	9.0	34.8	5.6	1.1		

(11) 性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

性別にみると、女性は男性に比べて全体的に回答割合が高くなっている。

【図表 49 性別×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数 (n)	代わってほめてほしい	自分でほめてほしい	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談	家族のお世話について相談
男	2,482	6.2	4.4	2.0	1.3	7.8	6.6	3.5	0.8	64.7	3.7	8.2		
女	2,698	5.8	7.1	2.7	3.3	11.0	10.7	3.6	0.7	60.6	4.2	6.9		
その他	25	8.0	16.0	12.0	4.0	16.0	28.0	0.0	0.0	52.0	12.0	0.0		
答えたくない	107	15.0	14.0	6.5	5.6	24.3	12.1	13.1	0.9	36.4	11.2	8.4		

(12) 性別×代わってほしいお世話の内容

性別にみると、女性は男性に比べて全体的に回答割合が高くなっている。特に「食事の準備」、「洗濯」、「入浴のお世話」、「トイレのお世話」、「見守り」などの家事や介護が高くなっている。

【図表 50 性別×代わってほしいお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	掃除	食事の準備	洗濯	買い物	送り迎え	入浴のお世話	トイレのお世話	散歩に一緒に行く	病院に一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
男	154	28.6	23.4	14.3	9.7	2.6	16.9	9.7	7.1	3.9	24.7	36.4	1.9	4.5	5.2	11.7	1.3
女	156	24.4	29.5	21.8	13.5	5.1	26.9	17.3	10.3	3.8	19.9	43.6	5.1	0.6	4.5	3.8	1.9
その他	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	16	56.3	50.0	50.0	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	37.5	31.3	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0

(13) 性別×自分のことについて希望する相談方法

性別にみると、男性、女性ともに「直接会って」が最も高いが、男性は加えて「電話」も高く、直接対話の希望が高くなっている。女性は男性に比べて「SNS」、「電子メール」の直接対話以外での割合が高くなっている。

【図表 51 性別×自分のことについて希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子メール	その他	無回答
男	109	70.6	30.3	17.4	9.2	0.9	3.7
女	191	62.8	26.2	29.8	12.6	3.1	3.1
その他	4	100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
答えたくない	15	66.7	13.3	40.0	13.3	0.0	13.3

(14) 性別×家族のお世話について希望する相談方法

性別にみると、男性、女性ともに自分の相談方法と同様、「直接会って」が最も高く、女性は男性に比べて「SNS」、「電子メール」の直接対話以外での割合が高くなっている。

【図表 52 性別×家族のお世話について希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電 子 メ ー ル	そ の 他	無 回 答
男	50	56.0	32.0	22.0	12.0	2.0	10.0
女	72	63.9	25.0	31.9	15.3	1.4	4.2
その他	3	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
答えたくない	7	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6

2 家族構成によるお世話の状況の違い

(1) 家族構成×お世話を必要としている家族

家族構成別にみると、いずれの家族構成も「弟・妹」が最も高くなっている。三世帯世帯は「おばあさん」、「おじいさん」が他の家族構成に比べて高くなっている。ひとり親家庭は「お母さん」が高くなっている。

【図表 53 家族構成×お世話を必要としている家族（複数回答）】

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	あばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	その他	回答不明	無回答
二世帯世帯	3,093	19.7	12.7	4.6	3.5	6.3	71.3	2.4	0.0	3.8
三世帯世帯	1,683	15.0	9.9	30.1	15.2	3.8	50.2	3.9	0.0	3.7
ひとり親家庭	1,143	23.6	4.6	22.0	11.1	6.7	47.9	5.2	0.0	4.4
その他の世帯	108	11.1	5.6	28.7	16.7	2.8	28.7	27.8	0.0	8.3

(2) 家族構成×お世話の内容

①お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容

家族構成別にみると、二世帯世帯とひとり親家庭は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が6割以上と高くなっている。

【図表 54 家族構成×お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	や家事 掃除（食 事の準備 洗濯）	送り 迎え	世入 浴や トイレの お	緒買 い物 や散 歩に 一	病院へ 一 緒に 行く	話を 聞く	見 守り	話通 訊（日 本語 や手 話）	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
二世帯世帯	666	63.7	7.5	6.5	28.5	9.5	24.0	14.3	5.4	4.8	5.4	2.7	13.4	4.8
三世帯世帯	281	49.1	8.5	7.5	25.3	6.0	21.4	13.9	4.3	5.3	5.3	1.8	20.3	5.3
ひとり親家庭	312	61.9	6.7	5.4	24.4	7.4	29.2	12.2	4.8	3.5	1.3	1.0	12.5	5.4
その他の世帯	12	33.3	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	33.3	8.3

第3章 調査結果追加分析

②おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容

家族構成別にみると、三世代世帯とひとり親家庭は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が二世代世帯に比べて高くなっている。二世代世帯は、「買い物や散歩に一緒に行く」が他の家族構成に比べて高くなっている。加えて、二世代世帯と三世代世帯は「見守り」もひとり親家庭に比べて高くなっている。

【図表 55 家族構成×おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	回答不明	無回答
二世代世帯	173	30.6	6.4	6.4	35.8	8.7	38.7	40.5	3.5	2.9	8.7	2.3	11.0	5.2
三世代世帯	648	40.4	5.6	10.2	18.7	5.4	39.8	39.8	1.5	1.5	10.0	5.1	9.9	3.5
ひとり親家庭	308	43.2	5.5	5.2	24.7	10.7	40.6	32.5	1.9	1.6	12.3	2.9	11.7	3.6
その他の世帯	38	39.5	5.3	7.9	36.8	10.5	21.1	36.8	7.9	5.3	18.4	2.6	13.2	2.6

③兄、あるいは姉のお世話の内容

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が他の家族構成に比べて高くなっている。二世代世帯は「見守り」、三世代世帯は「見守り」、「買い物や散歩に一緒に行く」が高くなっている。なお、三世代世帯は「入浴やトイレのお世話」の介護を担っているが12.5%となっている。

【図表 56 家族構成×兄、あるいは姉のお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	回答不明	無回答
二世代世帯	194	23.7	4.6	7.2	14.9	3.6	31.4	26.8	4.6	3.6	4.1	5.7	20.6	7.2
三世代世帯	64	17.2	7.8	12.5	21.9	4.7	32.8	28.1	3.1	3.1	6.3	3.1	23.4	3.1
ひとり親家庭	77	42.9	5.2	6.5	13.0	3.9	27.3	16.9	1.3	3.9	3.9	2.6	16.9	10.4
その他の世帯	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

④弟や妹のお世話の内容

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が他の家族構成に比べて高くなっている。

【図表 57 家族構成×弟や妹のお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩と一緒に歩く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	業の管理	その他	回答不明	無回答
二世帯世帯	2,206	22.4	5.4	32.1	23.2	1.7	36.4	66.5	1.6	1.9	1.9	9.2	4.9	2.1
三世帯世帯	845	16.4	4.7	27.3	25.1	1.4	38.2	67.0	2.0	2.6	1.9	11.0	5.0	1.9
ひとり親家庭	547	35.8	8.4	28.2	23.6	1.5	40.8	63.3	1.8	2.7	3.1	6.8	5.1	2.2
その他の世帯	31	25.8	9.7	32.3	19.4	0.0	29.0	61.3	0.0	9.7	0.0	12.9	3.2	3.2

(3) 家族構成×お世話を一緒にしている人

家族構成別にみると、二世帯世帯と三世帯世帯は「お母さん」、「お父さん」が高く、加えて三世帯世帯は「おばあさん」、「おじいさん」も他の家族構成に比べて高くなっている。ひとり親家庭は「お母さん」が5割程度と他の家族構成に比べてやや低く、「お父さん」も1割未満となっている。

三世帯世帯は「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」が他の家族構成に比べてやや高く、「自分だけで世話をしている」がやや低くなっている。

【図表 58 家族構成×お世話を一緒にしている人（複数回答）】

	調査数（n）	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	親戚の人	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	自分だけで世話をしている	回答不明	無回答
二世帯世帯	3,093	64.6	54.1	9.1	6.0	21.6	22.3	2.4	1.6	0.8	7.7	8.7	4.0
三世帯世帯	1,683	66.1	49.7	31.2	19.3	21.9	21.5	4.7	7.1	0.7	6.8	8.5	3.6
ひとり親家庭	1,143	52.8	9.7	16.8	8.7	20.4	13.7	5.2	4.9	1.7	11.6	10.8	4.4
その他の世帯	108	19.4	13.0	19.4	8.3	16.7	10.2	13.0	6.5	6.5	11.1	16.7	11.1

(4) 家族構成×お世話をしている頻度

家族構成別にみると、二世帯世帯は「ほぼ毎日」が他の家族構成に比べてやや高くなっている。

【図表 59 家族構成×お世話をしている頻度】

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
二世帯世帯	3,093	49.0	18.5	13.4	6.6	1.9	7.5	3.1
三世帯世帯	1,683	43.3	19.1	18.0	7.4	1.6	7.6	3.1
ひとり親家庭	1,143	44.7	16.6	16.5	6.6	2.5	9.1	3.9
その他の世帯	108	34.3	17.6	13.9	4.6	4.6	14.8	10.2

(5) 家族構成×平日1日あたりにお世話に費やす時間

家族構成別にみると、いずれの家族構成も「2時間未満」が最も高くなっており、『3時間未満』は三世帯世帯が55.9%、二世帯世帯が51.5%、ひとり親家庭が45.5%となっている。

【図表 60 家族構成×平日1日あたりにお世話に費やす時間】

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	無回答
二世帯世帯	3,093	2.0	4.5	27.5	17.5	17.4	5.9	1.1	24.2
三世帯世帯	1,683	2.2	5.3	31.7	16.7	14.0	5.2	0.8	24.0
ひとり親家庭	1,143	1.2	4.6	24.4	15.3	15.2	7.7	1.9	29.6
その他の世帯	108	0.0	1.9	14.8	16.7	13.9	6.5	0.0	46.3

(6) 家族構成×お世話をしていることで経験したこと

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」が他の家族構成に比べてやや高くなっている。

【図表 61 家族構成×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数 (n)	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題など勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾いや習い事ができ	部活動ができない	ない自分の時間が取れ	その他	特	回	無
											に	答	回
											ない	不明	答
二世帯世帯	3,093	3.7	4.1	11.3	6.8	6.7	0.9	1.6	16.1	0.7	60.5	7.4	4.7
三世帯世帯	1,683	2.2	2.2	9.4	7.2	5.3	0.6	1.4	13.7	1.0	63.9	7.7	4.6
ひとり親家庭	1,143	6.2	5.6	14.0	10.7	9.2	1.4	2.9	17.8	1.1	54.4	8.3	5.1
その他の世帯	108	4.6	2.8	9.3	13.9	4.6	0.9	2.8	8.3	0.9	50.0	13.9	10.2

(7) 家族構成×お世話をすることの大変さ

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」が他の家族構成に比べてやや高くなっている。一方、二世帯世帯と三世帯世帯は「特に大変さは感じていない」がひとり親家庭に比べて高くなっている。

【図表 62 家族構成×お世話をすることの大変さ（複数回答）】

	調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	て特に大変さは感じ	回	無
					ない	答	回
					は	不明	答
					感じ		
二世帯世帯	3,093	12.4	17.7	13.9	56.7	7.4	4.0
三世帯世帯	1,683	9.8	20.1	13.3	55.6	8.8	3.3
ひとり親家庭	1,143	11.7	25.5	16.6	48.0	8.7	5.5
その他の世帯	108	13.0	25.9	14.8	35.2	15.7	10.2

(8) 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「お金の面で支援してほしい」が他の家族構成に比べてやや高くなっている。

【図表 63 家族構成×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数（n）	自分が行っているお世話を代わってほしい	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談してほしい	家族の病気や障がい、お世話のことも説明してほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
二世帯世帯	2,761	5.9	5.8	2.1	2.1	9.6	9.2	2.9	0.9	63.2	3.9	7.5
三世帯世帯	1,505	6.1	5.8	2.5	2.7	9.2	8.2	3.7	0.5	63.3	3.7	7.7
ひとり親家庭	990	7.4	6.6	3.4	3.0	11.1	8.5	5.8	0.9	57.3	5.4	7.3
その他の世帯	81	6.2	9.9	4.9	1.2	11.1	8.6	8.6	0.0	49.4	7.4	9.9

(9) 家族構成×代わってほしいお世話の内容

家族構成別にみると、ひとり親家庭は「掃除」、「食事の準備」、「買い物」などの家事が他の家族構成に比べて高くなっている。

【図表 64 家族構成×代わってほしいお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	掃除	食事の準備	洗濯	買い物	送り迎え	入浴のお世話	トイレのお世話	散歩と一緒に歩く	病院と一緒に歩く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
二世帯世帯	162	27.8	29.0	20.4	9.3	1.2	22.2	13.0	6.8	3.7	18.5	40.1	3.7	1.9	2.5	8.6	1.9
三世帯世帯	92	23.9	19.6	18.5	13.0	6.5	21.7	15.2	10.9	4.3	33.7	41.3	1.1	5.4	9.8	7.6	1.1
ひとり親家庭	73	30.1	34.2	21.9	17.8	6.8	17.8	11.0	8.2	6.8	20.5	42.5	6.8	2.7	4.1	5.5	0.0
その他の世帯	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

3 平日1日あたりのお世話に費やす時間による生活状況等

(1) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×健康状態

お世話に費やす時間別にみると、30分未満は「よい」が6割台、1時間未満は5割台、それ以上の時間になると4割台となっている。7時間以上は「ふつう」が他と比べて高くなっており、お世話に費やす時間が短いと健康状態は良好となっている。

【図表 65 平日1日あたりのお世話に費やす時間×健康状態】

	調査数 (n)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
30分未満	114	62.3	12.3	18.4	5.3	0.0	1.8
1時間未満	284	51.8	14.1	27.1	3.5	2.1	1.4
2時間未満	1,685	47.2	21.1	22.4	7.2	1.1	0.9
3時間未満	1,016	45.7	18.6	23.9	9.2	1.6	1.1
5時間未満	964	43.6	16.9	29.0	7.8	1.9	0.8
7時間未満	366	43.2	16.9	26.8	7.9	2.2	3.0
7時間以上	69	29.0	15.9	37.7	10.1	2.9	4.3

(2) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への出欠状況

お世話に費やす時間別にみると、お世話に費やす時間が概ね長くなるにしたがって、「たまに欠席する」、「よく欠席する」が高くなっている。

【図表 66 平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への出欠状況】

	調査数 (n)	いほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
30分未満	114	79.8	14.0	4.4	1.8
1時間未満	284	79.2	19.0	1.1	0.7
2時間未満	1,685	73.2	23.4	2.8	0.6
3時間未満	1,016	65.4	28.8	4.7	1.1
5時間未満	964	66.4	28.7	4.4	0.5
7時間未満	366	57.7	35.0	4.9	2.5
7時間以上	69	55.1	31.9	10.1	2.9

(3) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への遅刻や早退の状況

お世話に費やす時間別にみると、お世話に費やす時間が概ね長くなるにしたがって、「たまにする」、「よくする」が高くなっている。

【図表 67 平日1日あたりのお世話に費やす時間×学校への遅刻や早退の状況】

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無 回 答
30分未満	114	87.7	8.8	1.8	1.8
1時間未満	284	80.6	16.9	1.8	0.7
2時間未満	1,685	78.2	18.7	2.6	0.6
3時間未満	1,016	71.2	24.0	3.7	1.1
5時間未満	964	69.6	24.8	4.6	1.0
7時間未満	366	62.3	29.5	5.5	2.7
7時間以上	69	63.8	29.0	4.3	2.9

(4) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×普段の学校生活などであてはまること

お世話に費やす時間別にみると、お世話に費やす時間が長いと全体的に回答割合が高くなっている。5時間未満と7時間未満は「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」などの項目で他と比べてやや高くなっている。

【図表 68 平日1日あたりのお世話に費やす時間×普段の学校生活などであてはまること（複数回答）】

	調査数 (n)	授業中 が多寝 いてしま	宿 題が でき てい ない	持 ち 物 の 忘 れ 物 が	部 活 や 習 い 事 が 多 い	提 出 物 が 多 い	修 学 旅 行 欠 席 の 宿	保 健 室 で 過 ご す	学 校 で は 一 人 で 過	友 達 と 遊 び な り す	特 に な い	無 回 答
30分未満	114	22.8	14.0	27.2	1.8	21.9	0.9	0.9	3.5	2.6	49.1	1.8
1時間未満	284	22.5	13.7	26.1	2.1	20.8	0.7	1.1	2.8	3.5	50.0	2.8
2時間未満	1,685	21.4	15.3	21.5	4.5	22.2	0.9	1.1	5.0	5.0	49.4	2.7
3時間未満	1,016	24.2	18.2	27.7	5.3	27.1	1.0	2.6	7.5	6.1	42.0	3.1
5時間未満	964	22.8	22.5	30.6	6.2	30.5	1.3	3.1	8.8	8.0	39.0	2.5
7時間未満	366	22.4	22.4	30.6	5.5	26.0	1.6	1.4	5.7	5.2	38.8	6.8
7時間以上	69	20.3	21.7	30.4	2.9	24.6	2.9	0.0	11.6	11.6	46.4	1.4

(5) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×現在の悩みごと

お世話に費やす時間別にみると、3時間未満と5時間未満は「学校の成績のこと」がやや高くなっている。お世話に費やす時間が概ね長くなるにしたがって、「家族のこと」が高くなっている。

【図表 69 平日1日あたりのお世話に費やす時間×現在の悩みごと（複数回答）】

	調査数 (n)	友達の こと	学校の 成績の こと	部活動 や塾、 習い 事のこと	家族の こと	生活や お金の 勉強に 必要 なこと	自分の 時間が ために 使え ない	その他	特 に な い	(%) 無 回 答
30分未満	114	18.4	22.8	11.4	5.3	8.8	6.1	2.6	57.0	2.6
1時間未満	284	12.7	27.8	10.2	12.7	8.5	5.6	6.0	53.2	1.1
2時間未満	1,685	16.4	27.1	11.8	9.6	7.5	6.4	3.6	52.6	2.1
3時間未満	1,016	21.0	30.1	11.1	11.7	9.9	8.5	4.5	46.1	2.1
5時間未満	964	23.5	31.2	11.8	14.5	12.2	10.3	3.2	44.8	2.1
7時間未満	366	20.2	26.5	9.8	15.6	12.3	9.8	3.8	45.9	4.6
7時間以上	69	23.2	33.3	8.7	23.2	11.6	20.3	4.3	40.6	1.4

(6) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話をするこゝの大変さ

お世話に費やす時間別にみると、お世話に費やす時間が長くなるにしたがって、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」が高くなっている。

【図表 70 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話をするこゝの大変さ（複数回答）】

	調査数 (n)	体力の 面で 大変	気持ち の面 で 大変	時間 の 余 裕 が な い	特 に な い 大 変 さ は 感 じ ない	回 答 不 明	(%) 無 回 答
30分未満	114	0.9	10.5	7.0	79.8	0.9	3.5
1時間未満	284	6.7	18.7	8.1	69.0	1.4	2.1
2時間未満	1,685	9.9	19.9	12.6	64.5	1.3	1.4
3時間未満	1,016	13.9	21.1	17.8	58.5	0.8	1.2
5時間未満	964	16.6	26.7	21.2	55.1	0.0	1.1
7時間未満	366	21.3	29.5	25.4	50.0	1.4	1.4
7時間以上	69	26.1	36.2	24.6	46.4	1.4	0.0

(7) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談した経験

お世話に費やす時間別にみると、お世話に費やす時間が概ね長くなるにしたがって相談したことが「ある」が高くなっている。

【図表 71 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	ある	ない	回答不明	無回答
30分未満	114	6.1	89.5	1.8	2.6
1時間未満	284	11.3	86.6	1.1	1.1
2時間未満	1,685	11.1	86.6	1.8	0.5
3時間未満	1,016	13.9	84.2	1.7	0.3
5時間未満	964	15.9	82.7	0.9	0.5
7時間未満	366	16.4	81.1	1.4	1.1
7時間以上	69	21.7	76.8	1.4	0.0

(8) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話の悩みについての相談相手

お世話に費やす時間別にみると、いずれも「お母さん」が最も高く、次いで「友達」となっている。お世話に費やす時間が概ね長くなるにしたがって、「学校の先生」が高くなっている。

【図表 72 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話の悩みについての相談相手（複数回答）】

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー	親戚（おじ、おばなど）の人	友達	（ヘルパーなど）の 病院・医療・福祉サービス の人	近所の人	SNS上での 知り合い	無回答
30分未満	7	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3
1時間未満	32	59.4	21.9	3.1	3.1	12.5	9.4	0.0	6.3	6.3	28.1	9.4	0.0	3.1	6.3
2時間未満	187	60.4	25.7	15.5	5.9	15.0	18.7	5.9	10.7	7.0	32.1	2.1	0.5	5.3	3.2
3時間未満	141	61.7	21.3	13.5	5.7	15.6	19.1	10.6	13.5	11.3	36.9	5.0	1.4	9.2	0.7
5時間未満	153	53.6	22.2	14.4	7.2	19.0	24.8	9.8	11.1	7.2	35.9	3.3	3.3	8.5	0.0
7時間未満	60	60.0	43.3	13.3	8.3	15.0	18.3	6.7	13.3	8.3	30.0	1.7	1.7	0.0	0.0
7時間以上	15	73.3	33.3	13.3	6.7	13.3	26.7	13.3	0.0	6.7	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0

(9) 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談していない理由

お世話に費やす時間別にみると、いずれも「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっている。また、「相談しても何も変わらないから」はお世話に費やす時間が長くなるにしたがって高くなっている。

【図表 73 平日1日あたりのお世話に費やす時間×お世話について相談していない理由（複数回答）】

	調査数 (n)	相談する はす なる いほ かど らの 悩	かよ誰 らいに か相 わ談 かす らる なの いが	な相 い談 かで らき る 人 が い	ずた家 かく族 しなの いいこ いかと らを （話し 恥し	わ相 ら談 なして かも ら何 も 変	そ の 他	(%) 無 回 答
30分未満	102	87.3	0.0	0.0	0.0	7.8	6.9	2.0
1時間未満	246	85.4	3.7	2.8	1.6	9.8	6.1	0.8
2時間未満	1,459	82.8	3.0	1.4	2.6	10.3	5.3	2.0
3時間未満	855	81.1	3.9	2.8	3.4	11.1	5.1	2.3
5時間未満	797	78.9	4.8	3.6	3.6	15.3	5.9	1.3
7時間未満	297	71.0	5.7	6.1	6.7	17.8	7.4	4.0
7時間以上	53	60.4	7.5	7.5	5.7	24.5	5.7	1.9

4 お世話を必要としている家族によるお世話の状況等

(1) お世話を必要としている家族×(回答者の)性別

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が父母のみ、祖父母のみ、複数人の場合は「男」が高く、きょうだいのみ(幼いのみ)、きょうだいのみ(上記以外)の場合は「女」が高くなっている。

【図表 74 お世話を必要としている家族×(回答者の)性別】

	調査数 (n)	男	女	その他	答えたくない	無回答
父母のみ	702	55.4	40.6	0.7	2.8	0.4
祖父母のみ	778	51.9	45.2	0.3	1.8	0.8
きょうだいのみ(幼いのみ)	2,438	42.1	55.0	0.5	1.6	0.8
きょうだいのみ(上記以外)	1,033	47.8	48.2	0.5	2.3	1.2
複数人	856	53.0	43.0	0.5	2.6	0.9

(2) お世話を必要としている家族×お世話の内容

①お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が父母のみの場合は「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も高くなっている。その他では「買い物や散歩に一緒に行く」、「話を聞く」、「見守り」などとなっている。

【図表 75 お世話を必要としている家族×お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容(複数回答)】

	調査数 (n)	や家事 (掃除、 洗濯、 食事の 準備)	送り 迎え	世入 浴や トイレ のお	緒買 い物 や散 歩に 一	病院 へ一 緒に 行く	話を 聞く	見守 り	話通 訊(日 本語 や手 話)	お金の 管理	薬の 管理	その他	回答 不明	無回答
父母のみ	702	57.8	6.0	6.3	22.8	7.1	21.7	13.4	6.7	4.3	5.3	3.0	12.4	5.0
祖父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだいのみ(幼いのみ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだいのみ(上記以外)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
複数人	574	61.8	9.6	6.4	31.0	9.4	28.2	13.9	2.8	5.4	3.3	0.9	17.8	5.4

②おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が祖父母のみの場合は「見守り」が最も高くなっている。その他では「話を聞く」、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「薬の管理」などとなっている。

【図表 76 お世話を必要としている家族×おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (食事の 準備 や掃除、 洗濯)	送り 迎え	世 話 入 浴 や ト イ レ の お	緒 買 い 物 や 散 歩 に 一	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	話 通 訳 (日 本 語 や 手 話 な ど)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母のみ	778	38.9	5.3	9.5	19.4	7.5	43.1	43.8	2.3	1.0	12.9	5.1	5.9	3.0
きょうだいのみ（幼いのみ）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだいのみ（上記以外）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
複数人	393	41.0	6.4	5.6	31.8	7.6	31.8	26.2	2.0	3.8	6.4	1.8	19.8	5.3

③兄、あるいは姉のお世話の内容

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「話を聞く」、「見守り」、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」などが高くなっている。きょうだいのみ（上記以外）では、きょうだいのみ（幼いのみ）と比べて「入浴やトイレのお世話」が高くなっている。

【図表 77 お世話を必要としている家族×兄、あるいは姉のお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (食事の 準備 や掃除、 洗濯)	送り 迎え	世 話 入 浴 や ト イ レ の お	緒 買 い 物 や 散 歩 に 一	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	話 通 訳 (日 本 語 や 手 話 な ど)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだいのみ（幼いのみ）	19	31.6	0.0	5.3	5.3	0.0	42.1	36.8	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0
きょうだいのみ（上記以外）	137	20.4	3.6	14.6	11.7	4.4	27.0	44.5	5.8	2.9	9.5	6.6	13.1	5.1
複数人	184	30.4	7.1	3.3	19.6	3.8	31.5	9.2	1.6	4.3	1.1	2.2	28.3	9.2

④ 弟や妹のお世話の内容

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）、きょうだいのみ（上記以外）の場合は「見守り」、「話を聞く」、「入浴やトイレのお世話」、「買い物や散歩と一緒にいく」、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」などが高くなっている。きょうだいのみ（幼いのみ）の場合は、特に「見守り」が72.9%と高くなっていることから、父母や祖父母のお世話の内容に比べて負担は大きくない場合が多いと考えられる。

【図表 78 お世話を必要としている家族×弟や妹のお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩と一緒にいく	病院へ一緒にいく	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	業の管理	その他	回答不明	無回答
父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,424	23.1	5.5	37.3	26.2	1.3	38.9	72.9	1.6	1.8	1.9	8.3	1.4	1.1
きょうだいのみ（上記以外）	911	19.4	4.2	14.9	15.7	1.5	31.8	51.3	1.8	2.7	2.0	11.7	13.5	4.6
複数人	304	32.9	12.2	22.4	27.6	3.9	41.8	55.6	3.0	4.3	3.6	9.2	6.9	2.6

(3) お世話を必要としている家族×お世話を一緒にしている人

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が父母のみの場合は「自分だけで世話をしている」がお世話の対象が祖父母やきょうだいである場合などに比べて高く、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」は2.8%にとどまっております。一人でお世話を担っているため、他のお世話の対象より負担が大きいことがうかがえる。

お世話を必要としている家族が祖父母のみの場合は「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」が18.9%とお世話の対象が父母やきょうだいである場合などに比べて高くなっている。お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「お母さん」、「お父さん」、「弟・妹」が高く、複数人でお世話を担っていることがうかがえる。

【図表 79 お世話を必要としている家族×お世話を一緒にしている人（複数回答）】

	調査数（n）	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	親戚の人	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	自分だけで世話をしている	回答不明	無回答
父母のみ	702	28.5	25.2	7.4	4.0	21.5	12.1	2.4	2.8	1.0	17.8	17.0	5.3
祖父母のみ	778	68.0	41.6	16.6	11.3	26.2	15.4	9.6	18.9	0.9	5.0	4.2	2.4
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,438	77.7	58.2	20.3	12.8	21.5	29.1	2.3	0.2	0.4	6.0	2.1	1.4
きょうだいのみ（上記以外）	1,033	60.5	41.0	14.9	8.0	15.9	13.5	1.2	2.3	0.9	9.7	12.6	5.1
複数人	856	52.1	31.7	21.6	11.8	26.4	18.2	7.6	4.1	3.2	9.1	14.6	3.7

(4) お世話を必要としている家族×お世話をしている頻度

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「ほぼ毎日」が約6割とお世話の対象が父母や祖父母である場合などに比べて高くなっている。

学校種別にみると、小学5～6年生は、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「ほぼ毎日」が67.6%と中学生、高校生（全日制）に比べて高くなっている。

高校生（全日制）は、お世話を必要としている家族が父母のみの場合と祖父母の場合は「ほぼ毎日」が4割弱と小学5～6年生、中学生に比べて高くなっている。

【図表 80 お世話を必要としている家族×お世話をしている頻度】

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
父母のみ	702	32.5	18.9	17.4	8.8	2.8	15.8	3.7
祖父母のみ	778	33.3	19.8	23.5	14.0	3.5	3.7	2.2
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,438	61.6	18.9	12.2	4.3	0.9	1.2	0.9
きょうだいのみ（上記以外）	1,033	40.4	17.1	17.4	7.3	2.7	10.8	4.3
複数人	856	41.1	19.4	15.4	6.1	2.6	12.5	2.9

第3章 調査結果追加分析

【図表 81 学校種別 お世話を必要としている家族×お世話をしている頻度】

小学5～6年生 (％)

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
父母のみ	230	25.7	16.1	15.7	13.0	2.6	21.3	5.7
祖父母のみ	174	32.2	24.1	21.3	12.1	3.4	4.6	2.3
きょうだいのみ(幼いのみ)	747	67.6	16.2	9.6	3.3	0.5	1.3	1.3
きょうだいのみ(上記以外)	432	43.8	15.3	15.0	5.3	1.4	11.8	7.4
複数人	310	42.6	18.7	17.4	4.8	1.9	11.6	2.9

中学生 (％)

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
父母のみ	250	32.4	22.0	21.6	5.2	2.0	14.8	2.0
祖父母のみ	302	30.8	20.2	24.8	13.9	3.6	4.3	2.3
きょうだいのみ(幼いのみ)	1,063	59.9	21.2	11.6	4.2	0.8	1.5	0.8
きょうだいのみ(上記以外)	383	37.1	18.8	18.0	7.0	3.9	13.1	2.1
複数人	331	37.8	19.9	16.9	8.2	2.4	12.7	2.1

高校生(全日制) (％)

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
父母のみ	211	38.9	18.5	14.7	9.0	3.8	11.8	3.3
祖父母のみ	295	36.9	16.3	23.1	15.6	3.4	2.7	2.0
きょうだいのみ(幼いのみ)	605	57.4	18.7	15.9	5.6	1.3	0.5	0.7
きょうだいのみ(上記以外)	210	38.6	17.1	21.9	11.9	3.3	5.2	1.9
複数人	201	43.8	19.4	10.4	4.5	3.5	13.9	4.5

(5) お世話を必要としている家族×平日1日あたりにお世話に費やす時間

お世話を必要としている家族別にみると、いずれも「2時間未満」が最も高いが、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「3時間未満」、「5時間未満」がお世話の対象が父母や祖父母である場合などに比べて高くなっている。父母のみと祖父母のみは『3時間以上』が1割台、きょうだいのみ（上記以外）と複数人は2割台となっているが、きょうだいのみ（幼いのみ）は3割台とお世話に費やす時間が高くなっている。

学校種別にみると、父母のみの場合、『3時間以上』お世話をしている人は、小学5～6年生が9.1%、中学生が13.2%、高校生（全日制）が13.8%と年齢が上がるにしたがって高くなっている。

【図表 82 お世話を必要としている家族×平日1日あたりにお世話に費やす時間】

	調査数 (n)	← 3時間未満 → ← 3時間以上 →							無回答	(%)
		30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上		
父母のみ	702	2.8	6.8	28.8	12.1	8.7	3.1	0.7	36.9	
祖父母のみ	778	3.7	8.0	33.0	15.0	10.4	3.2	0.9	25.7	
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,438	1.5	4.0	29.3	20.9	22.5	8.5	1.3	12.0	
きょうだいのみ（上記以外）	1,033	1.5	4.1	25.7	15.5	13.6	5.8	1.5	32.5	
複数人	856	1.5	3.3	25.4	15.4	15.0	5.8	1.2	32.5	

第3章 調査結果追加分析

【図表 83 学校種別 お世話を必要としている家族×平日1日あたりにお世話に費やす時間】

小学5～6年生

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	(%) 無回答
父母のみ	230	3.5	3.5	28.7	9.6	4.8	3.0	1.3	45.7
祖父母のみ	174	4.6	4.0	30.5	13.8	10.3	7.5	1.1	28.2
きょうだいのみ(幼いのみ)	747	1.9	4.0	24.9	17.4	22.4	13.1	1.9	14.5
きょうだいのみ(上記以外)	432	0.5	1.4	25.9	13.0	13.9	8.3	2.3	34.7
複数人	310	1.6	3.5	25.2	15.2	13.2	6.5	1.0	33.9

中学生

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	(%) 無回答
父母のみ	250	2.8	8.4	28.4	12.8	8.8	3.6	0.8	34.4
祖父母のみ	302	4.6	7.9	32.1	16.6	8.6	1.3	0.7	28.1
きょうだいのみ(幼いのみ)	1,063	1.3	3.4	31.4	22.2	23.7	6.0	1.1	10.8
きょうだいのみ(上記以外)	383	2.6	6.0	22.7	17.0	13.1	4.2	0.8	33.7
複数人	331	1.8	3.3	27.8	14.5	14.5	6.0	1.5	30.5

高校生(全日制)

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	(%) 無回答
父母のみ	211	2.4	9.0	30.3	14.2	11.4	2.4	0.0	30.3
祖父母のみ	295	2.4	10.5	35.3	14.6	11.9	2.7	1.0	21.7
きょうだいのみ(幼いのみ)	605	1.3	5.3	31.7	22.6	20.3	7.1	1.0	10.6
きょうだいのみ(上記以外)	210	1.4	5.7	30.5	18.1	13.8	3.8	0.5	26.2
複数人	201	1.0	3.0	23.4	16.9	18.4	4.0	0.5	32.8

(6) お世話を必要としている家族×お世話をしていることで経験したこと

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）、きょうだいのみ（上記以外）、複数人の場合は「宿題など勉強する時間がない」、「自分の時間が取れない」がやや高くなっている。さらに、複数人の場合は「眠る時間が足りない」も、お世話の対象が父母や祖父母、きょうだいである場合などに比べて高くなっている。

【図表 84 お世話を必要としている家族×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数（n）	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時間宿題など勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾いや習い事ができ	部活動ができない	な自分の時間が取れ	その他	特にな	回答不明	無回答
父母のみ	702	6.6	4.6	8.4	7.7	4.6	1.1	2.8	12.3	1.0	56.4	14.1	5.6
祖父母のみ	778	2.3	1.7	8.0	7.7	5.4	0.9	1.8	12.5	1.5	68.0	3.9	4.5
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,438	3.2	3.7	13.8	7.0	7.8	0.5	1.7	18.9	0.5	65.8	1.6	2.2
きょうだいのみ（上記以外）	1,033	2.7	4.0	10.2	7.4	7.0	1.4	1.1	14.8	1.4	56.7	11.6	5.6
複数人	856	6.2	6.2	13.0	12.0	7.8	1.5	2.7	16.2	0.6	52.5	11.7	4.6

(7) お世話を必要としている家族×お世話をすることの大変さ

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が祖父母のみの場合は「気持ちの面で大変」がお世話の対象が父母やきょうだいである場合などに比べて高くなっている。お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「体力の面で大変」がやや高いものの、「特に大変さは感じていない」が6割以上と高くなっている。父母のみの場合は「特に大変さは感じていない」がお世話の対象が祖父母やきょうだいである場合などに比べて低くっており、お世話の負担が大きいことがうかがえる。

【図表 85 お世話を必要としている家族×お世話をすることの大変さ（複数回答）】

	調査数（n）	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	て特にな大変さは感じ	回答不明	無回答
父母のみ	702	8.7	21.5	12.7	47.9	14.8	4.7
祖父母のみ	778	8.6	27.9	12.0	56.7	4.1	2.6
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,438	13.3	18.6	15.8	63.4	1.4	1.3
きょうだいのみ（上記以外）	1,033	9.7	20.1	12.8	49.9	12.2	5.9
複数人	856	15.9	19.3	18.1	46.8	13.0	4.1

(8) お世話を必要としている家族×お世話について相談した経験

お世話を必要としている家族別にみると、いずれも相談した経験が「ない」が高く、経験が「ある」は1割台となっている。

【図表 86 お世話を必要としている家族×お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	ある	ない	回答不明	無回答
父母のみ	702	13.8	68.7	13.2	4.3
祖父母のみ	778	15.2	78.8	4.2	1.8
きょうだいのみ(幼いのみ)	2,438	10.7	86.7	2.1	0.5
きょうだいのみ(上記以外)	1,033	12.1	71.7	11.3	4.8
複数人	856	15.0	68.9	12.6	3.5

(9) お世話を必要としている家族×お世話について相談していない理由

お世話を必要としている家族別にみると、いずれも「相談するほどの悩みではないから」が最も高く、特にお世話を必要としている家族がきょうだいのみ(幼いのみ)の場合は8割以上と高くなっており、他のお世話の対象よりお世話に関する相談や負担が少ないことがうかがえる。また、お世話を必要としている家族がきょうだいのみ(幼いのみ)は「相談しても何も変わらないから」がお世話の対象が父母や祖父母である場合などに比べてやや低くなっている。

【図表 87 お世話を必要としている家族×お世話について相談していない理由(複数回答)】

	調査数 (n)	み相 で談 はす なる いほ かど らの 悩	かよ誰 らいに か相 わ談 かす らる なの いが	な相 い談 かで らき る 人 が い	ずた家 かく族 しなの いいこ らかと らを 話し	わ相 ら談 なして かも ら何 も 変	そ の 他	無 回 答
父母のみ	482	71.6	5.6	5.0	5.8	15.4	6.0	3.7
祖父母のみ	613	79.8	4.9	2.1	3.4	14.4	4.2	1.5
きょうだいのみ(幼いのみ)	2,113	83.4	2.0	1.9	2.1	10.6	6.7	1.8
きょうだいのみ(上記以外)	741	77.3	5.3	3.5	4.3	13.2	6.7	3.2
複数人	590	73.6	6.4	3.1	5.3	15.3	4.2	3.9

(10) お世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が複数人の場合は「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」がお世話の対象が祖父母やきょうだいである場合などに比べてやや高くなっている。

【図表 88 お世話を必要としている家族×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数（n）	代自分が行っているお世話を	自分でほしことについて話を聞	に家族のお世話について相談	り話の病なや障がいで、わかせ	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にな	わから	無回答
父母のみ	579	7.1	6.9	4.3	5.0	10.2	7.4	5.4	0.9	55.6	4.7	7.9
祖父母のみ	731	5.6	5.7	3.0	3.4	8.1	6.6	4.9	0.8	61.6	4.5	8.5
きょうだいのみ（幼いのみ）	2,374	5.3	4.6	1.1	0.8	9.8	8.6	2.5	0.6	66.9	3.4	7.2
きょうだいのみ（上記以外）	866	5.7	6.8	2.5	3.2	9.9	9.5	3.5	1.3	61.0	3.9	7.2
複数人	718	9.9	9.5	4.7	3.8	12.0	13.0	5.8	0.7	53.8	5.4	6.3

(11) お世話を必要としている家族×代わってほしいお世話の内容

お世話を必要としている家族別にみると、お世話を必要としている家族が父母のみの場合は「掃除」、「食事の準備」が高くなっている。お世話を必要としている家族が祖父母のみの場合は「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。お世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合は「入浴のお世話」、「見守り」が高くなっている。お世話を必要としている家族が複数人の場合は「掃除」、「食事の準備」、「洗濯」、「買い物」、「見守り」が高くなっている。

お世話を必要としている家族が父母のみの場合は「入浴のお世話」、祖父母のみの場合は「入浴のお世話」、「トイレのお世話」など介護・介助に類するお世話をしている人が1割程度となっている。

【図表 89 お世話を必要としている家族×代わってほしいお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	掃除	食事の準備	洗濯	買い物	送り迎え	入浴のお世話	トイレのお世話	散歩に一緒に行く	病院に一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
父母のみ	41	41.5	39.0	17.1	12.2	2.4	9.8	0.0	4.9	2.4	19.5	22.0	9.8	0.0	0.0	4.9	0.0
祖父母のみ	41	22.0	24.4	12.2	9.8	4.9	9.8	12.2	9.8	9.8	43.9	41.5	4.9	2.4	14.6	0.0	0.0
きょうだいのみ（幼いのみ）	125	16.8	20.0	20.0	6.4	3.2	31.2	18.4	6.4	3.2	24.0	55.2	3.2	0.8	2.4	10.4	2.4
きょうだいのみ（上記以外）	49	22.4	24.5	10.2	10.2	2.0	20.4	6.1	14.3	0.0	12.2	38.8	0.0	4.1	6.1	14.3	4.1
複数人	71	39.4	33.8	28.2	25.4	7.0	16.9	14.1	8.5	7.0	21.1	26.8	2.8	7.0	4.2	5.6	0.0

5 お世話をすることの大変さによるお世話の状況の違い

(1) お世話をすることの大変さ×お世話している理由

①お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由

お世話をすることの大変さ別にみると、お母さん、あるいはお父さんをお世話していて、気持ちの面で大変と感じている人は「こころの病気（うつ病など疑いも含む）」、「身体障がい」、「依存症（お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている。疑いも含む）」などの理由でお世話をしている割合が他に比べてやや高くなっている。

【図表 90 お世話をすることの大変さ×お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	介護 (食事や身の回りのお世話) が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など疑いも含む)	抱えて いる。疑い も含む)	依存症 (お酒やギャンブルな どをやめられず生活に問題 を抱えている。疑いも含む)	病 気	こころの 病気、 依存症 以外の	日 本語が 苦手	そ の 他	わ か ら な い	回 答 不 明	無 回 答
体力の面で大変	143	0.7	9.8	2.1	4.9	0.0	6.3	4.2	6.3	6.3	13.3	29.4	19.6	9.8		
気持ちの面で大変	259	1.9	10.8	2.7	13.1	0.8	19.7	9.7	10.4	7.7	12.4	15.1	10.0	5.4		
時間の余裕がない	188	3.2	8.5	2.1	6.4	1.6	8.5	3.7	9.6	7.4	16.5	22.9	16.5	7.4		
特に大変さは感じていない	594	2.2	4.7	1.0	9.4	0.5	5.9	1.0	6.7	5.9	18.2	23.7	18.4	7.9		
回答不明	199	0.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.5	1.5	2.5	12.6	72.9	7.0		

②おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由

お世話をすることの大変さ別にみると、おばあさん、あるいはおじいさんをお世話していて、体力の面で大変と感じている人、気持ちの面で大変と感じている人、時間の余裕がないと感じている人は、共通して「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」などの理由でお世話をしている割合が高くなっている。また、気持ちの面で大変と感じている人は「認知症」も他と比べて高くなっている。

【図表 91 お世話をすることの大変さ×おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	介護 (食事や身の回りのお世話) が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など疑いも含む)	抱えて いる。疑い も含む)	依存症 (お酒やギャンブルな どをやめられず生活に問題 を抱えている。疑いも含む)	病 気	こころの 病気、 依存症 以外の	日 本語が 苦手	そ の 他	わ か ら な い	回 答 不 明	無 回 答
体力の面で大変	114	67.5	37.7	24.6	14.0	2.6	3.5	3.5	7.0	0.9	1.8	10.5	4.4	0.9		
気持ちの面で大変	278	67.3	35.6	33.8	17.3	2.5	3.2	4.0	7.6	1.1	2.5	4.3	5.4	0.4		
時間の余裕がない	159	69.2	32.1	16.4	18.2	1.9	3.1	3.1	8.2	1.3	4.4	6.9	6.3	1.3		
特に大変さは感じていない	627	64.3	24.9	13.9	14.5	0.6	0.8	0.3	6.7	0.3	4.8	6.9	5.4	3.2		
回答不明	101	10.9	4.0	2.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	8.9	68.3	5.0		

③兄、あるいは姉をお世話している理由

お世話をするこの大変さ別にみると、兄、あるいは姉をお世話していて、気持ちの面で大変と感じている人は「知的障がい」、「病気（こころの病気含む）」などの理由でお世話をしている割合が他に比べてやや高くなっている。

【図表 92 お世話をするこの大変さ×兄、あるいは姉をお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	う自分より幼いと思	必要 回りの 介護の （食事や 身の	身体障がい	知的障がい	病気（こころの病 気含む）	日本語が苦手	その他	わからない	回答不明	無回答
体力の面で大変	47	8.5	8.5	14.9	8.5	6.4	6.4	17.0	21.3	27.7	8.5
気持ちの面で大変	89	15.7	7.9	15.7	29.2	18.0	4.5	11.2	10.1	13.5	4.5
時間の余裕がない	47	17.0	6.4	8.5	4.3	6.4	4.3	17.0	25.5	17.0	10.6
特に大変さは感じていない	143	8.4	8.4	16.1	25.2	7.7	2.8	9.1	15.4	19.6	6.3
回答不明	44	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	84.1	0.0

④弟や妹をお世話している理由

お世話をするこの大変さ別にみると、弟や妹をお世話していて、体力の面で大変と感じている人、気持ちの面で大変と感じている人、時間の余裕がないと感じている人は、共通して「幼い」の理由でお世話をしている割合が高くなっている。

【図表 93 お世話をするこの大変さ×弟や妹をお世話している理由（複数回答）】

	調査数 (n)	幼い	必要 回りの 介護の （食事や 身の	身体障がい	知的障がい	病気（こころの病 気含む）	日本語が苦手	その他	わからない	回答不明	無回答
体力の面で大変	462	76.0	9.1	1.3	4.3	3.2	3.7	7.6	6.1	2.8	3.9
気持ちの面で大変	683	70.9	8.2	2.9	9.8	2.9	3.4	10.8	6.1	1.9	2.8
時間の余裕がない	586	72.5	10.6	1.9	6.7	3.4	4.4	10.8	7.0	3.2	1.5
特に大変さは感じていない	2,139	75.9	3.1	1.6	4.0	1.3	1.5	8.6	6.4	3.1	2.5
回答不明	169	21.9	1.8	0.6	1.2	1.2	0.6	4.7	5.9	62.1	1.8

(2) お世話をすることの大変さ×お世話の内容

①お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容

お世話をすることの大変さ別にみると、お母さん、あるいはお父さんをお世話していて、体力の面で大変と感じている人、気持ちの面で大変と感じている人、時間の余裕がないと感じている人は、共通して「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「話を聞く」のお世話をしている割合が高くなっている。

【図表 94 お世話をすることの大変さ×お母さん、あるいはお父さんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	世話を浴やトイレのお	一緒に買い物や散歩に	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	業の管理	その他	回答不明	無回答
体力の面で大変	143	66.4	11.2	5.6	37.8	12.6	32.2	23.8	7.0	9.8	6.3	2.8	7.0	4.2
気持ちの面で大変	259	66.4	5.8	10.8	32.8	12.0	39.4	25.9	6.2	6.6	6.2	3.1	4.2	1.5
時間の余裕がない	188	72.9	10.6	9.0	34.6	13.3	35.6	20.2	6.9	8.0	7.4	3.2	8.0	2.7
特に大変さは感じていない	594	69.4	7.1	5.9	28.8	5.9	23.1	11.4	5.7	3.7	3.2	2.5	5.9	2.9
回答不明	199	21.1	8.5	2.0	9.5	7.0	11.6	5.5	1.0	3.5	4.5	0.0	62.3	6.0

②おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容

お世話をすることの大変さ別にみると、おばあさん、あるいはおじいさんをお世話していて、体力の面で大変と感じている人は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「話を聞く」などのお世話をしている割合が高くなっている。気持ちの面で大変と感じている人は「見守り」、「話を聞く」が半数以上となっている。時間の余裕がないと感じている人は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が半数以上、その他は「話を聞く」、「見守り」が高くなっている。

【図表 95 お世話をすることの大変さ×おばあさん、あるいはおじいさんのお世話の内容（複数回答）】

	調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	送り迎え	世話を浴やトイレのお	一緒に買い物や散歩に	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	業の管理	その他	回答不明	無回答
体力の面で大変	114	57.0	10.5	14.0	27.2	11.4	38.6	48.2	4.4	4.4	17.5	0.0	6.1	4.4
気持ちの面で大変	278	43.5	6.5	13.3	23.4	11.5	52.9	53.6	3.2	2.9	17.3	5.0	5.0	2.2
時間の余裕がない	159	55.3	7.5	14.5	29.6	13.8	47.8	38.4	1.9	3.8	13.8	1.3	3.1	4.4
特に大変さは感じていない	627	40.4	4.9	6.9	25.7	5.7	39.6	37.2	1.8	1.3	9.3	4.8	5.3	2.4
回答不明	101	9.9	2.0	1.0	9.9	2.0	7.9	7.9	0.0	0.0	1.0	0.0	69.3	4.0

③兄、あるいは姉のお世話の内容

お世話をするこの大変さ別にみると、兄、あるいは姉をお世話していて、体力の面で大変と感じている人、気持ちの面で大変と感じている人は「話を聞く」、「見守り」、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」などのお世話をしている割合が高くなっている。時間の余裕がないと感じている人は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」が同率となっている。

【図表 96 お世話をするこの大変さ×兄、あるいは姉のお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (食事の準備 や掃除、洗濯)	送り 迎え	世 話 入 浴 や ト イ レ の お	緒 買 い 物 や 散 歩 に 一	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	話 通 訊 (日 本 語 や 手 話 など)	お 金 の 管 理	業 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
体力の面で大変	47	27.7	6.4	6.4	19.1	6.4	36.2	27.7	6.4	6.4	8.5	6.4	14.9	8.5
気持ちの面で大変	89	31.5	3.4	5.6	15.7	4.5	36.0	32.6	3.4	3.4	7.9	6.7	7.9	3.4
時間の余裕がない	47	38.3	4.3	2.1	12.8	6.4	38.3	19.1	2.1	8.5	8.5	8.5	17.0	4.3
特に大変さは感じていない	143	28.7	7.0	13.3	16.8	2.8	30.1	30.1	4.9	2.8	3.5	4.2	13.3	6.3
回答不明	44	4.5	4.5	2.3	11.4	4.5	18.2	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	72.7	0.0

④弟や妹のお世話の内容

お世話をするこの大変さ別にみると、弟、あるいは妹をお世話していて、体力の面で大変と感じている人、気持ちの面で大変と感じている人、時間の余裕がないと感じている人は、共通して「見守り」が7割以上とお世話をしている割合が最も高くなっている。

【図表 97 お世話をするこの大変さ×弟や妹のお世話の内容（複数回答）】

	調査数 (n)	家事 (食事の準備 や掃除、洗濯)	送り 迎え	世 話 入 浴 や ト イ レ の お	緒 買 い 物 や 散 歩 に 一	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	話 通 訊 (日 本 語 や 手 話 など)	お 金 の 管 理	業 の 管 理	そ の 他	回 答 不 明	無 回 答
体力の面で大変	462	31.4	8.7	39.8	32.3	3.5	44.4	74.2	3.0	2.8	4.1	7.1	1.9	0.4
気持ちの面で大変	683	33.2	6.4	35.3	26.4	3.1	44.2	72.5	3.7	2.9	4.8	9.8	1.5	1.3
時間の余裕がない	586	36.9	10.8	41.3	32.9	4.1	49.5	73.5	2.9	3.4	5.5	6.0	2.0	0.7
特に大変さは感じていない	2,139	20.6	5.1	29.8	23.0	0.9	37.0	67.8	1.2	1.9	1.2	10.4	2.0	1.1
回答不明	169	5.9	1.2	5.9	7.7	0.6	11.8	13.0	1.2	1.8	0.6	3.6	65.7	1.8

(3) お世話をすることの大変さ×お世話をしていることで経験したこと

お世話をすることの大変さ別にみると、時間の余裕がないと感じている人は「自分の時間が取れない」、「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」が他と比べて高くなっている。

【図表 98 お世話をすることの大変さ×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数 (n)	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題など勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾や習い事ができ	部活動ができない	な自分の時間が取れ	その他	特にな	回答不明	無回答
体力の面で大変	699	11.2	8.9	27.3	23.6	14.6	2.7	4.1	34.0	1.4	40.9	0.9	3.0
気持ちの面で大変	1,213	8.2	7.4	24.5	19.5	16.1	2.1	3.6	35.5	2.6	41.8	0.7	1.5
時間の余裕がない	861	9.2	10.0	42.3	29.0	21.1	2.6	4.4	56.3	1.4	22.6	1.2	1.3
特に大変さは感じていない	3,284	2.0	2.2	4.8	2.4	3.2	0.5	1.3	6.1	0.4	82.5	1.2	1.7
回答不明	497	1.0	1.4	0.6	1.2	0.4	0.2	0.0	0.4	0.2	13.7	82.7	0.8

(4) お世話をすることの大変さ×お世話について相談した経験

お世話をすることの大変さ別にみると、気持ちの面で大変と感じている人は相談した経験が「ある」と回答した割合が他に比べて高くなっている。

【図表 99 お世話をすることの大変さ×お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	ある	ない	回答不明	無回答
体力の面で大変	699	23.9	74.1	1.6	0.4
気持ちの面で大変	1,213	31.2	66.9	1.5	0.4
時間の余裕がない	861	23.8	73.8	2.0	0.5
特に大変さは感じていない	3,284	6.3	91.2	1.8	0.7
回答不明	497	2.4	16.5	77.5	3.6

(5) お世話をすることの大変さ×お世話について相談していない理由

お世話をすることの大変さ別にみると、気持ちの面で大変と感じている人は「相談しても何も変わらないから」が他に比べて高くなっている。

【図表 100 お世話をすることの大変さ×お世話について相談していない理由（複数回答）】

	調査数 (n)	み相 で談 はす なほ いほ かど らの 悩	かよ誰 らいに か相 わ談 かす らる なの いが	な相 い談 かで らき る人 が い	ずた家 かく族 しな しいの いかと からを （話し 恥し	わ相 ら談 ない ても から 何も 変	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	518	69.5	10.0	7.3	6.0	20.8	4.6	3.7
気持ちの面で大変	812	61.8	11.1	8.5	9.4	35.0	4.6	2.1
時間の余裕がない	635	66.8	11.2	8.2	6.3	29.0	4.9	1.4
特に大変さは感じていない	2,996	85.2	1.3	0.7	1.9	6.2	6.9	2.2
回答不明	82	57.3	6.1	1.2	4.9	8.5	9.8	15.9

(6) お世話をすることの大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

お世話をすることの大変さ別にみると、時間の余裕がないと感じている人は「自由に使える時間がほしい」が他に比べて高くなっている。

【図表 101 お世話をすることの大変さ×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数 (n)	代自 わ分 が 行 つ て ほ し い る お 世 話 を	い自 分 の こ と に つ い て 話 を 聞	に家 族 の お 世 話 に つ い て 相 談	り話家 やの族 すこの病 くこと気 説なや 明しに障 してつが ほいい、 いわお か世	自 由 に 使 え る 時 間 が ほ し い	勉 強 を 教 え て ほ し い	お 金 の 面 で 支 援 し て ほ し い	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
体力の面で大変	685	16.6	12.8	5.3	3.2	21.3	14.3	5.3	1.0	41.8	4.4	7.3
気持ちの面で大変	1,190	14.3	14.7	7.2	5.6	18.9	11.0	8.5	1.5	40.1	6.3	6.5
時間の余裕がない	840	14.6	13.8	6.1	3.6	29.8	16.0	8.8	1.4	37.0	4.9	5.8
特に大変さは感じていない	3,202	2.1	2.6	0.5	1.5	4.6	6.7	2.1	0.5	74.0	3.0	7.6
回答不明	94	4.3	5.3	2.1	0.0	2.1	7.4	2.1	0.0	56.4	13.8	13.8

(7) お世話をすることの大変さ×自分のことについて希望する相談方法

お世話をすることの大変さ別にみると、いずれも「直接会って」が最も高くなっている。

【図表 102 お世話をすることの大変さ×自分のことについて希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子 メ ー ル	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	88	61.4	33.0	28.4	12.5	2.3	3.4
気持ちの面で大変	175	65.1	29.1	33.1	16.0	1.1	4.0
時間の余裕がない	116	64.7	32.8	34.5	10.3	5.2	1.7
特に大変さは感じていない	83	71.1	21.7	15.7	6.0	1.2	4.8
回答不明	5	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0

(8) お世話をすることの大変さ×家族のお世話について希望する相談方法

お世話をすることの大変さ別にみると、いずれも「直接会って」が最も高くなっている。体力の面で大変と感じている人は「電話」が他に比べて高くなっている。「SNS」は気持ちの面で大変と感じている人、時間の余裕がないと感じている人が高くなっている。

【図表 103 お世話をすることの大変さ×家族のお世話について希望する相談方法（複数回答）】

	調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子 メ ー ル	そ の 他	無 回 答
体力の面で大変	36	63.9	44.4	13.9	8.3	0.0	11.1
気持ちの面で大変	86	60.5	23.3	31.4	15.1	0.0	5.8
時間の余裕がない	51	64.7	27.5	35.3	11.8	3.9	5.9
特に大変さは感じていない	16	43.8	25.0	37.5	18.8	0.0	12.5
回答不明	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6 お世話についての相談の状況

(1) お世話について相談した経験×お世話をしていることで経験したこと

お世話について相談した経験別にみると、相談した経験がない人は「特にない」が69.5%となっている。一方、相談した経験がある人は、ない人に比べていずれの項目も回答割合が高く、特に「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「友達と遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」が高くなっている。

【図表 104 お世話について相談した経験×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数 (n)	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題など勉強する	い眠る時間が足りない	で友達と遊ぶことが	な塾や習い事ができ	部活動ができない	な自分の時間が取れ	その他	特にない	回答不明	無回答
ある	739	9.2	8.7	23.8	18.9	14.5	2.8	5.7	31.7	2.3	41.9	2.0	2.3
ない	4,615	3.3	3.4	10.6	6.8	6.4	0.7	1.5	15.1	0.7	69.5	1.7	2.6
回答不明	493	1.0	1.2	2.2	1.6	0.4	0.0	0.2	1.8	0.0	18.7	74.0	2.8

7 ヤングケアラーの自己認識による生活状況、お世話の状況の違い

(1) ヤングケアラーの自己認識×健康状態

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思わない（いいえ）人は自分がヤングケアラーだと思う（はい）人に比べて「よい」が高くなっている。自分がヤングケアラーだと思う人は『よくない』が約1割となっている。

【図表 105 ヤングケアラーの自己認識×健康状態】

	調査数 (n)	← よい →		← よくない →			無回答
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
はい	627	42.6	21.5	24.4	8.5	1.9	1.1
いいえ	3,396	53.4	16.3	22.8	6.0	1.1	0.4
わからない	1,893	37.1	19.1	30.6	9.7	2.8	0.6

(2) ヤングケアラーの自己認識×学校への出欠状況

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は「ほとんど欠席しない」がやや低くなっている。

【図表 106 ヤングケアラーの自己認識×学校への出欠状況】

	調査数 (n)	いほとんど欠席しない			無回答
		いほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	
はい	627	68.4	25.7	5.7	0.2
いいえ	3,396	72.9	23.8	2.9	0.4
わからない	1,893	64.4	29.8	5.3	0.5

(3) ヤングケアラーの自己認識×学校への遅刻や早退の状況

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は「ほとんどしない」がやや低くなっている。

【図表 107 ヤングケアラーの自己認識×学校への遅刻や早退の状況】

	調査数 (n)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無 回 答
はい	627	68.6	24.9	5.9	0.6
いいえ	3,396	78.0	18.8	2.6	0.6
わからない	1,893	69.7	24.9	5.0	0.5

(4) ヤングケアラーの自己認識×普段の学校生活などであてはまること

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べていずれの項目も回答割合が高く、特に「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」が高くなっている。

【図表 108 ヤングケアラーの自己認識×普段の学校生活などであてはまること（複数回答）】

	調査数 (n)	授業中に寝 てしま	宿題ができて いない	持ち物の忘れ 物が多い	部活動や塾、習 い事が多い	提出物を出す のが多い	修学旅行など 泊席の宿	保健室で過 ぎすこ	学校では一人 で過	友達と遊んだ りすお	特にな い	無 回 答
はい	627	23.6	21.1	28.5	6.5	27.8	1.8	1.6	8.0	7.5	39.7	4.0
いいえ	3,396	20.4	15.5	23.8	3.9	22.9	0.7	1.4	5.2	5.7	48.5	3.1
わからない	1,893	21.8	20.8	28.4	5.4	25.7	1.1	2.6	8.1	6.5	43.6	3.5

(5) ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みごと

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べていずれの項目も回答割合が高く、特に「家族のこと」、「生活や勉強に必要なお金のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」が高くなっている。

【図表 109 ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みごと（複数回答）】

	調査数 (n)	友達の こと	学校の 成績の こと	部活動 や塾、 習い 事のこと	家族の こと	生活や お金の 勉強に 必要 なこと	自分の 時間が ために 使え ないこ と	その他	特 に な い	(%) 無 回 答
はい	627	19.9	31.7	12.0	18.5	15.2	15.0	3.2	40.2	2.7
いいえ	3,396	16.8	27.0	10.5	8.5	7.6	5.2	3.4	54.2	2.1
わからない	1,893	21.5	28.3	11.0	15.3	11.0	9.0	4.0	45.6	2.9

(6) ヤングケアラーの自己認識×お世話を一緒にしている人

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて「おばあさん」、「兄・姉」が高く、家族で対応していることがうかがえる。

【図表 110 ヤングケアラーの自己認識×お世話を一緒にしている人（複数回答）】

	調査数 (n)	お母 さん	お父 さん	おば あさん	おじ いさん	兄・ 姉	弟・ 妹	親 戚の 人	用ル福 パ社 ーサ ービ ス (を 利 へ	そ の 他	自 分 だ け で 世 話 を し て い る	回 答 不 明	(%) 無 回 答
はい	627	66.7	47.2	21.5	12.4	28.2	19.0	4.8	6.2	1.4	8.8	3.2	1.8
いいえ	3,396	63.1	45.2	16.3	10.0	20.0	21.1	3.3	3.4	0.8	7.9	10.1	3.7
わからない	1,893	59.9	40.9	16.6	10.3	22.1	19.3	4.3	4.1	1.4	8.6	9.2	4.4

(7) ヤングケアラーの自己認識×お世話をしている頻度

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて「ほぼ毎日」が6割以上と高くなっている。

【図表 111 ヤングケアラーの自己認識×お世話をしている頻度】

	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に3〜5日	週に1〜2日	1ヶ月に数日	その他	回答不明	無回答
はい	627	64.1	15.9	9.6	4.9	1.3	2.6	1.6
いいえ	3,396	42.9	19.5	17.0	6.9	2.1	8.8	2.9
わからない	1,893	46.9	17.5	14.5	7.3	2.2	7.8	3.8

(8) ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりにお世話を費やす時間

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べてお世話を費やす時間が長くなっている。自分がヤングケアラーだと思わない人は『3時間以上』が19.8%となっているが、自分がヤングケアラーだと思う人は36.2%とお世話を費やす時間が高くなっている。

【図表 112 ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりにお世話を費やす時間】

	調査数 (n)	30分未満	1時間未満	2時間未満	3時間未満	5時間未満	7時間未満	7時間以上	無回答
はい	627	1.1	3.2	25.4	16.9	22.2	11.0	3.0	17.2
いいえ	3,396	2.3	5.2	30.2	16.9	14.3	4.8	0.7	25.5
わからない	1,893	1.4	4.5	25.6	17.0	17.5	6.4	1.2	26.5

(9) ヤングケアラーの自己認識×お世話をしていることで経験したこと

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて特に「自分の時間が取れない」、「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「友達と遊ぶことができない」が高くなっている。

【図表 113 ヤングケアラーの自己認識×お世話をしていることで経験したこと（複数回答）】

	調査数（n）	う学校を休んでしま	し遅刻や早退をして	時宿題など勉強する	い眠る時間が足りな	で友達と遊ぶことが	な塾や習い事ができ	部活動ができない	な自分の時間が取れ	その他	特にな	回答不明	無回答
はい	627	6.9	7.5	22.3	16.9	13.2	2.4	2.9	27.3	1.4	48.3	2.6	2.2
いいえ	3,396	2.4	2.8	7.8	4.9	4.8	0.5	1.4	11.4	0.6	66.6	8.8	4.2
わからない	1,893	5.1	4.4	13.9	10.1	8.5	1.2	2.2	19.8	1.1	53.6	7.4	5.4

(10) ヤングケアラーの自己認識×お世話をすることの大変さ

ヤングケアラーの自己認識別にみると、いずれの項目も自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて高くなっている。

【図表 114 ヤングケアラーの自己認識×お世話をすることの大変さ（複数回答）】

	調査数（n）	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	て特にな大変さは感じ	回答不明	無回答
はい	627	21.9	29.8	27.4	44.2	2.6	2.1
いいえ	3,396	8.7	15.6	10.4	60.7	9.2	3.4
わからない	1,893	13.4	25.2	17.4	47.4	7.9	4.9

(11) ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談した経験

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて相談した経験が「ある」が高くなっている。

【図表 115 ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談した経験】

	調査数 (n)	ある	ない	回答不明	無回答
はい	627	21.1	75.1	2.7	1.1
いいえ	3,396	8.7	79.7	9.2	2.5
わからない	1,893	15.8	72.4	7.8	4.0

(12) ヤングケアラーの自己認識×お世話の悩みについての相談相手

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて「お母さん」、「お父さん」に相談する人が低くなっており、「学校の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」などに相談することが高くなっている。

【図表 116 ヤングケアラーの自己認識×お世話の悩みについての相談相手（複数回答）】

	調査数 (n)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	学校の先生	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー やスクールカウンセラー	親戚（おじ、おばなど）の人	友達	（ヘルパーなど）の 病院・医療・福祉サービ ス	近所の人	SNS上での知り合い	無回答
はい	132	49.2	20.5	19.7	7.6	18.9	18.2	6.8	13.6	10.6	29.5	3.8	1.5	6.8	3.0
いいえ	294	65.0	27.9	12.9	7.5	12.6	11.6	4.8	7.8	5.1	28.6	3.1	2.4	6.1	2.0
わからない	299	56.5	26.8	11.7	5.7	18.4	24.7	12.0	13.0	7.7	37.8	3.7	1.0	6.7	0.7

(13) ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談していない理由

ヤングケアラーの自己認識別にみると、いずれも「相談するほどの悩みではないから」が7割以上と最も高いが、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて「相談しても何も変わらないから」が高くなっている。

【図表 117 ヤングケアラーの自己認識×お世話について相談していない理由（複数回答）】

	調査数 (n)	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	相談するほどの悩みの悩み	その他	無回答
はい	471	72.8	6.6	3.8	6.4	15.9	6.4	2.5	
いいえ	2,705	83.3	1.8	1.4	2.5	9.4	6.8	2.0	
わからない	1,371	74.3	7.1	4.8	4.3	17.9	4.4	3.0	

(14) ヤングケアラーの自己認識×学校や周りの大人にしてもらいたいこと

ヤングケアラーの自己認識別にみると、自分がヤングケアラーだと思う人は自分がヤングケアラーだと思わない人に比べて特に「自由に使える時間がほしい」、「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「勉強を教えてほしい」が高くなっている。

【図表 118 ヤングケアラーの自己認識×学校や周りの大人にしてもらいたいこと（複数回答）】

	調査数 (n)	自分が行っているお世話を代わってほしい	自分自身のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談	家族の病気や障害についていわせ	家族の病気や障害についていわせ	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特になし	わからない	無回答
はい	603	11.6	10.0	6.1	4.3	15.9	12.6	6.6	1.2	50.9	4.0	5.5	
いいえ	2,999	4.2	3.8	1.1	1.5	6.8	7.2	2.5	0.7	70.3	2.8	7.0	
わからない	1,670	7.8	8.8	3.7	3.6	13.2	10.5	5.1	0.8	52.7	6.5	7.4	

第4章 調査結果取りまとめ・考察

1 調査結果取りまとめ

(1) お世話をしている子どもの割合

- ・ 対象者 102,389 人のうち、自分が「お世話」をしている人がいると回答した人は 6,049 人で該当者割合は 5.9%と、国の調査（令和2年、令和3年の全対象者に対する割合：5.7%）結果と概ね同様の割合となった。

(2) お世話を必要としている家族の状況

①きょうだいについて

- ・ お世話を必要としている家族については、いずれの学校種でも「弟・妹」が最も高く、特に小学5～6年生と中学生は6割以上と高校生（全日制）に比べて高くなっている。
- ・ きょうだいのみ（幼いのみ）をお世話している場合、約6割が「ほぼ毎日」お世話をしておりお世話の頻度は高いものの、お世話の内容としては「見守り」が 72.9%、「話を聞く」が 38.9%等の日常的な関わりに類するものと思われる内容の割合が高くなっている。

お世話をするごとの大変さでも「特に大変さは感じていない」が6割以上と高くなっており、きょうだいのみ（幼いのみ）のお世話は、父母や祖父母などのお世話をするごとのと比べると負担感は低いものと推測される。

- ・ きょうだいのみ（幼いのみ以外）では、高校生（全日制）が兄あるいは姉をお世話している理由は「身体障がい」が 22.2%、「知的障がい」が 32.1%となっており、お世話の内容としても「入浴やトイレのお世話」（12.3%）と他の学校種と比べて介護・介助に類するお世話の内容の割合が高くなっている。

調査数自体は他の学校種と比べて多くはないものの、年齢が上がるにしたがって、兄・姉の介護・介助に類するお世話を担うことが多くなることがわかる。

また、きょうだいのみ（幼いのみ以外）をお世話している場合、お世話をするごとの大変さでは、きょうだいのみ（幼いのみ）に比べて「特に大変さは感じていない」が低くなっており、ケアニーズの高いきょうだいのお世話が子どもに負担となっていることが想定される。

- ・ きょうだいのみ（幼いのみ以外）のお世話を一緒にしている人は、「自分だけで世話をしている」が約1割と、お世話の対象が祖父母やきょうだい（幼いのみ）である場合などに比べて高くなっており、また、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」は 2.3%にとどまっていることから、障がいのある兄・姉へのお世話をを行う場合に子ども（弟・妹）が『介護力』として位置づけられている可能性が示唆される。
- ・ また、兄・姉をお世話している人の中には、お世話をしている理由が「わからない」と回答している人もおり、小学5～6年生が 20.4%、中学生が 14.0%、高校生（全日制）が 9.9%と、年齢が下がるにしたがって高くなり、祖父母や弟・妹のお世話をしている人と比べて高くなっている。兄・姉のお世話をする場合、お世話の理由を理解しないまま疑問を抱かずお世話をしているおそれがあるため、負担が大きくなる前に周囲の大人が子どもの抱える負担

感に気づき、必要な支援を行う必要がある。

- ・ 総じて、きょうだいのお世話については、一般的な「きょうだいの面倒を見ている」ものも多く含まれていると思われるが、その中には介護・介助に類するお世話や、一人で大きな負担を抱えているなど、支援が必要な子どもが存在していることから、ニーズに合った福祉サービス等の活用を検討する必要がある。

②父母について

- ・ 父母をお世話している理由としては、高校生（全日制）では「身体障がい」（15.1%）、「こころの病気（うつ病など疑いも含む）」（14.8%）、「こころの病気、依存症以外の病気」（10.4%）が高くなっており、お世話の内容も「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話が他の学校種に比べてやや高くなっている。

また、高校生（全日制）は、父母のみをお世話をしている場合、「ほぼ毎日」お世話をしている人が38.9%と小学5～6年生、中学生に比べて高く、『3時間以上』お世話をしている人も、小学5～6年生が9.1%、中学生が13.2%、高校生（全日制）が13.8%と年齢が上がるにしたがって高くなっている。

お世話をする大変さにおいても、父母のみのお世話をする子どもにおける「特に大変さは感じていない」の割合（47.9%）は、祖父母のみ（56.7%）、きょうだいのみ（幼いのみ）（63.4%）と比べて低く、大変さを感じる子どもの割合が高いといえる。

- ・ 父母のみのお世話をしている子どもが代わってほしいお世話の内容としては、「掃除」、「食事の準備」などの家事のほかに「入浴のお世話」との回答もあり、父母の介護等を担う子どもが介護・介助に類するお世話への支援を求めていることがわかる。
- ・ 父母のみをお世話している場合、「自分だけで世話をしている」が17.8%とお世話の対象が祖父母やきょうだいである場合などに比べて高くなっており、家族でお世話をしている割合は低く、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」も2.8%にとどまっている。

お世話を一緒にしている人についての設問において、全体では「お母さん」が6割程度、「お父さん」が2～3割程度となっており、父母は多くの家庭で主なお世話の提供者となっているといえる。こうした中で父母がお世話を必要とする場合には、一般的に父母が担うお世話を子どもが担わざるを得なくなることが想定される。父母のお世話をしている子どもにおいては、その負担感等をアセスメントしたうえで必要な支援を提供することが必要と考えられる。

- ・ さらに、父母のみをお世話している人の68.7%がお世話について相談した経験がないと回答し、相談していない理由として「相談しても何も変わらないから」、「相談できる人がいないから」、「家族のことを話したくないから（恥ずかしい）」の割合がお世話の対象が祖父母やきょうだいである場合などに比べて高いことから、諦観や羞恥心から悩みや不安を一人で抱えている可能性が高いことが考えられる。

また、父母のお世話の理由における傾向として、「わからない」の回答が多いことが挙げられ、高校生（全日制）が11.0%、中学生が20.6%、小学5～6年生においては27.3%と年齢が低いほど高くなっている。低年齢であるほど父母がお世話を必要とする理由がわからないまま「お手伝い」として家族のお世話をし、結果大人への相談に至らない可能性がある。

- ・ 総じて、多くの場合に主なお世話の提供者である父母をお世話をするにより子どもが受ける肉体的・精神的負担は大きいと思われることから、子どもの抱える負担への周囲の「気

づき」並びに子ども及び家庭のニーズに応じた支援が必要であるといえる。

③祖父母について

- ・ 祖父母をお世話している理由としては、「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「認知症」が、年齢が上がるにしたがって高く、さらに、高校生（全日制）は「身体障がい」が18.4%おり、お世話の内容も「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話が他の学校種に比べて高くなっている。
- ・ 祖父母のみをお世話している場合、「お母さん」や「お父さん」、「兄・姉」などの家族でお世話をしている割合が高く、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」も18.9%とお世話の対象が父母やきょうだいである場合などに比べて高くなっている。
 こうしたことの影響もあってか、お世話をするごとの大変さにおいてもお世話の対象が父母やきょうだい（幼いのみ以外）である場合などに比べて「特に大変さは感じていない」の割合が高く（祖父母のみ：56.7%、父母のみ47.9%）、父母のお世話と比べると子どもの負担感は低い傾向があるものと考えられる。
- ・ 一方で、「入浴のお世話」（9.8%）、「トイレのお世話」（12.2%）等の介護・介助に類するお世話を代わってほしいとの回答もあり、サービスの未導入や不足等によって支援のニーズを持つと思われる子どもの存在も確認されることから、各子ども・家庭のニーズに応じた福祉サービス等の利用の促進が必要である。

（3）家族構成によるお世話の状況や負担感の違い

- ・ 三世帯世帯のお世話を必要としている家族については、「おばあさん」、「おじいさん」が他の家族構成に比べて高くなっている。お世話の内容は「入浴やトイレのお世話」がやや高くなっているものの、お世話を一緒にしている人は「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」、さらに、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」も1割未満だがその他の家族構成と比べて高くなっており、家族のお世話の分担や福祉サービスの支援を活用しながらお世話をしていることがうかがえる。
- ・ 三世帯世帯のお世話をしている頻度は「週に1～2日」、「1ヶ月に数日」が他の家族構成に比べて高く、お世話に費やす時間も『3時間未満』が55.9%と他の家族構成の中で一番高くなっている。
 さらに、お世話をするごとの大変さについては、「特に大変さは感じていない」の回答は55.6%と、ひとり親世帯の回答(48.0%)と比べて高くなっている(参考:二世帯世帯56.7%)。
 これらのことから、三世帯世帯における子どものお世話の負担感は、ひとり親家庭と比べると低い傾向があるものと考えられる。
- ・ ひとり親家庭のお世話を必要としている家族については、「お母さん」が他の家族構成に比べて高く、お世話の内容が「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高いことから、仕事等で不在の母親の代わりを担っていることがうかがえる。
- ・ また、ひとり親家庭は、「自分だけで世話をしている」が11.6%と他の家族構成に比べて高くなっている。
- ・ お世話に費やす時間は『3時間以上』が2割半ばと他の家族構成に比べて高く、お世話を

することの大変さでは「気持ちの面で大変」(25.5%)、「時間の余裕がない」(16.6%)が高く「特に大変さは感じていない」(48.0%)が低いことから、ひとり親家庭ではお世話の負担感の大きさがうかがえる。

- ・ さらに、学校や周りの大人にしてもらいたいこととして、「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「お金の面で支援してほしい」が高いことから、子どもへの支援に加え保護者への支援も重要と考えられる。
- ・ 以上の調査結果からうかがえる各世帯における特徴を踏まえると、家庭のユニットが小さくなると一人当たりの負担が大きくなり、また、家庭の中心である父母が将来お世話を受けるようになった場合、家族が社会から孤立し、子どもがお世話を担うこととなり、その結果負担感も大きくなる可能性が示唆された。
- ・ このことから、特に家族のユニットが小さい場合、周囲の大人の「気づき」や福祉のアウトリーチなど家庭へのアプローチの方法が重要と考えられる。

(4) 性別によるお世話の状況の違い

- ・ お世話を必要としている家族については、男性は女性に比べて「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」、「兄・姉」等の自分より大人のお世話の割合が高く、女性は男性に比べて「弟・妹」が高くなっている。
- ・ 男性は、父母、祖父母、きょうだいとお世話をする対象が変わってもお世話の内容として、「送り迎え」や「お金の管理」が女性を上回っている。一方、女性は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「入浴やトイレのお世話」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「話を聞く」、「見守り」など負担が軽いと思われる内容から介護・介助に類する内容と幅広いお世話に対応している。
- ・ お世話をしている頻度やお世話に費やす時間については、男性に比べて女性は長く関わっている場合が多く、お世話をすることの大変さでは、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」の割合がいずれも男性を上回り、女性はお世話の負担が大きいことがうかがえる。
- ・ お世話について相談した経験がある人は、男性が9.1%、女性が15.0%と、特に男性の相談経験は低い。男性は、「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「おじいさん」などの身近な家族に相談する割合が高くなっている。一方、女性は「お母さん」、「お父さん」、「きょうだい」、「友達」に加えて、「学校の先生」、「保健室の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」など家族以外に相談することも多くなっている。
- ・ 女性は男性に比べて「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」、「家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい」などの要望が高いこともあり、保健室の先生やスクールカウンセラーなど専門的知識がある人への相談も多いことがうかがえる。一方、男性は、自分や家族のことについて相談する方法としては直接対話を希望する人が高いものの、家族以外へ相談することが少ないことから、周囲を気にせず気軽に悩みを打ち明けられる相談先の充実が求められる。
- ・ なお、全体的な傾向として男性は女性に比べて「回答不明」、「無回答」の回答割合が高くっており、男性と女性で回答の水準が異なる（「お世話」という単語が意味する内容が違

う)可能性があり、数値・割合で比較することが難しい可能性がある旨付言する。

(5) お世話に関する相談状況

- ・ お世話について相談した経験がある人は、小学5～6年生が12.8%、中学生が10.8%、高校生(全日制)が13.2%といずれの学校種でも1割台にとどまっている。
- ・ お世話について相談した経験がある人は、相談した経験がない人に比べて「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「友達と遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」が高く、より切実であることがうかがえる。
- ・ 相談の経験がある人のうち、相談相手は「お母さん」が6割程度、「お父さん」が2～3割程度と高くなっており、父母のお世話が必要である場合には、特に家族以外の相談先(学校や相談窓口等)の役割が重要となるものと考えられる。
- ・ 相談した経験がない人はいずれの学校種でも7割以上となっており、相談しない理由としては、小学5～6年生は「誰に相談するのがよいかわからないから」、「相談できる人がいないから」、「家族のことを話したくないから(恥ずかしい)」などが他の学校種に比べて高くなっている。「相談しても何も変わらないから」は年齢が上がるにしたがって高くなり、高校生(全日制)は15.3%となっている。
小学5～6年生は、自分や家族のことについて話を聞いてくれる人を求めているものの、相談相手や相談方法がわからず実際の相談に結びついていない状況がうかがえる。また、高校生(全日制)になると、周りの状況を理解しているためか、相談することを諦めている人もみられる。
- ・ 以上から、家庭や学校、地域、福祉関係者などの身近な大人たちが子どもの変化や行動に目を配り、支援につなげる仕組みが求められているといえる。

(6) 長時間のお世話による心身や学校生活等への影響

- ・ お世話に費やす時間については、小学5～6年生、中学生、高校生(全日制)は「2時間未満」が最も高くなっている。年齢が下がるにしたがって『3時間以上』は高くなり、小学5～6年生が25.4%、中学生が22.2%、高校生(全日制)が21.2%となっている。
- ・ お世話に費やす時間が長くなると、「あまりよくない」、「よくない」と回答している人が増え、健康状態に影響が出ていることがうかがえる。
- ・ また、お世話に費やす時間が長くなると、「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」が高くなることから、長時間お世話をすることで心身の健康に影響を及ぼすことがうかがえる。
- ・ さらに、お世話に費やす時間が長いと学校への出欠や遅刻、早退をすることが増える場合が多く、お世話に費やす時間が長いほど普通の学校生活においても「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」などの割合が高くなる傾向があることから、長時間お世話をすることで学校生活への影響が大きく表れることがうかがえる。

(7) ヤングケアラーの自己認識による違い

- ・ お世話をしている家族がいると回答した人のうち自分がヤングケアラーだと自覚している人は、小学5～6年生が11.0%、中学生が9.4%、高校生（全日制）が11.1%であり、自覚していない、わからないとの回答が合わせて8割以上となっている。
- ・ ヤングケアラーの認知度については、いずれの学校種でも「聞いたことはなかった」が半数以上を占め、「聞いたことがあり、内容も知っている」は高校生（全日制）が27.7%、中学生が18.0%、小学5～6年生が11.1%と年齢が下がるにしたがって認知度は低くなっている。
- ・ 自分がヤングケアラーだと自覚している人はそう思わない人に比べて学校への出欠や遅刻、早退をすることが増える場合が多く、「授業中に寝てしまうことが多い」、「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」など普段の学校生活に何らかの支障がでている場合がある。また、現在悩んでいることとして、「学校の成績のこと」、「家族のこと」、「生活や勉強に必要なお金のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」の割合が高くなっている。
- ・ お世話をすることの大変さでは、自分がヤングケアラーだと自覚している人は「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」の割合が高く、お世話をする頻度も「ほぼ毎日」が64.1%と、そう思わない人（42.9%）を上回ることから、負担感が大きくなっていることがうかがえる。
- ・ 自分がヤングケアラーだと自覚している人は、お世話について相談した経験があると回答した人が21.1%と、そう思わない人（8.7%）を上回り、相談相手として家族をはじめ、「学校の先生」、「保健室の先生」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」など、身近な人や専門的知識のある人などの幅広い相談相手に相談している。
- ・ また、自分がヤングケアラーかどうか分からないと回答した人も、そう思わない人に比べて学校への出欠や遅刻、早退をすることが高くなっており、お世話をすることの大変さでは、そう思わない人に比べて「体力の面で大変」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」の割合が高いことから、自分がヤングケアラーかどうか分からないと回答した人の中にもお世話の負担を抱えている人が存在していることがうかがえる。
- ・ 家族のお世話に大変さを感じているもののヤングケアラーという自覚がない人も実際には一定数いることから、ヤングケアラーに関する広報啓発の強化を行うとともに、相談体制の充実や支援サービス等の情報発信が重要となっている。

(8) 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

- ・ 学校や周りの大人にしてもらいたいことについては、いずれの学校種でも「特にない」が約6割と最も高いが、その他では、小学5～6年生は「自分が行っているお世話を代わってほしい」、「自由に使える時間がほしい」、中学生は「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、高校生（全日制）は「自由に使える時間がほしい」が高くなっている。
- ・ 少数ではあるが、「家族のお世話について相談にのってほしい」、「家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい」などヤングケアラーならではの支援

を求めている人もおり、高校生（全日制）においては、「お金の面で支援してほしい」との要望も他の学校種に比べて高くなっている。

- ・ お世話をすることで体力の面で大変だと感じている人は「自分が行っているお世話を代わってほしい」、気持ちの面で大変だと感じている人は「自分のことについて話を聞いてほしい」がそれぞれ高くなっており、子どもたちの担っているお世話を軽減するための各種サービスの提供や相談体制の充実が求められている。さらに、時間の余裕がないと感じている人は「自由に使える時間がほしい」が他に比べて高いことから、勉強や遊び、部活動など本人の意欲や可能性を守るための支援が重要となっている。

（9）代わってほしいお世話の内容

- ・ 代わってほしいお世話の内容については、小学5～6年生と高校生（全日制）は「見守り」が最も高くなっている。中学生は「食事の準備」、「見守り」が最も高くなっている。
- ・ 「トイレのお世話」、「薬の管理」など介護・介助に類するお世話は、年齢が上がるにしたがって高く、高校生（全日制）は「入浴のお世話」が約3割、「トイレのお世話」が約2割と他の学校種に比べて高くなっている。また、「病院に一緒に行く」も他の学校種に比べて高く、高校生（全日制）のお世話の内容から負担感が大きいことがうかがえる。

2 考察

(1) ヤングケアラー支援実施の必要性

- ・ 本調査の結果から、家族のお世話をしている子どもは5.9%と国の全国調査と同程度存在することが確認された。
- ・ このうちヤングケアラーと自覚している人は、1割程度（調査回答者の約0.6%）であり、自分がヤングケアラーであると思わないと回答した人と比べると、家族のお世話を負担に感じている割合が高く、また、自分がヤングケアラーかどうかわからないと回答した人についても、家族のお世話を負担に感じている割合が高い結果となった。
- ・ お世話をしていることで経験したことの設問においては、「特にない」に次いで「自分の時間が取れない」が高くなっており、お世話をしていることで子どもの時期に経験すべき体験をすることに支障が生じている可能性が示唆された。
- ・ また、お世話の頻度が長いほど学校への欠席、遅刻、早退や持ち物の忘れ物、提出物の遅れ、宿題ができていないことなどが多くなっており、ヤングケアラーに該当すると考えられる子どもはお世話に関する責任を有していない子どもと比べて健康への影響や学校生活に何らかの支障が生じやすいものと推測された。
- ・ お世話の対象は、幼いことを理由としてきょうだいのお世話をしている人が最も多かったが、精神障がいのある父母、認知症である祖父母、知的障がいのあるきょうだい等、ケアニーズの高い対象をお世話している人もおり、また、お世話の内容もきょうだいの見守り等の日常的な関わりに類するものだけでなく、「入浴やトイレのお世話」等の介護・介助に類するお世話をしている人がいることが確認された。
- ・ 現代の日本では、介護保険制度や障害福祉制度による在宅サービス重視の傾向と障がいのある方の地域移行の推進により、家庭内外での家族の一定程度の自助が求められていることや、核家族化により世帯人数が減少傾向にある家庭における『介護力』の低下等により、子どもが『介護力』として家族のお世話を担わざるを得なくなっているといわれており、本県においても同様の傾向があるものと考えられる。
- ・ 家族のお世話をしている、していないにかかわらず、子ども自身の持つ可能性を最大限発揮できるよう、上記のような兆候が見られる「ヤングケアラー」と思われる子どもを学校を中心に早期発見するとともに、関係機関につないでいくことが重要である。そのうえで学校、関係機関が連携して、子どもたちが子どもらしい生活を送れるよう、支援を推進することが必要である。

(2) 既存の福祉サービスの活用を促進することの必要性

- ・ 調査結果から、家族のお世話は大きく二つの内容に分類されると考えられる。
 - ① 介護・介助に類するお世話
きょうだいの障がい、父母の障がい、疾病、祖父母の高齢、介護、認知症等を理由とするトイレ・入浴のお世話、通院同行、服薬管理等の本来大人が恒常的に行うべき内容。
 - ② 日常的な関わりに類するものと思われるお世話

大人と一緒に食事を準備、幼いきょうだいの見守り等の一般的に家庭内で「お手伝い」等と呼ばれる内容に類するお世話。

- ・ 2(1)のとおり、本調査によりケアニーズの高いお世話の対象者の介護・介助に類するお世話を担っている子どもが存在することが確認されており、こうしたお世話は子どもへの負担が大きいと思われることから、障害福祉サービス、介護サービス等の既存のサービスを活用して子どもの負担を軽減する必要があると考えられる。
- ・ 一方で、福祉サービスの利用は祖父母のお世話をする人では比較的高い(18.9%)ものの、お世話の対象が父母やきょうだいである場合などでは0~4%程度となっており、また、代わってほしいお世話の内容として「入浴のお世話」、「トイレのお世話」、「病院に一緒に行く」、「薬の管理」等の介護・介助に類する内容の回答が一定数確認された。
このことを踏まえると、「入浴のお世話」や「トイレのお世話」などを代わってほしいとの回答があることから、子どもに福祉サービスの潜在的なニーズがあるものの、サービスの利用に至っていない家庭が一定数存在するものと考えられる。
- ・ こうした状況は、①子どもが『介護力』としての役割を家庭内外から求められていること、②制度の狭間の中で家族のニーズに合ったサービスが提供されていないこと、③社会的孤立(公的サービスの存在自体を知らなかったり、公的機関との親和性の低さから利用手続き等に至らない等)や経済的困窮(利用負担を支払うことが難しい等)等によりサービス利用に結びつかないこと等による可能性があることから、子どもや要支援者を含めた家族全体をアセスメントしたうえで、福祉サービス関係者は、子どもを『介護力』とせず適切なサービスを提供できるよう取り組む必要がある。

(3) 既存の福祉サービスでは解決できないニーズの存在

- ・ 代わってほしいお世話に関する項目において、障がいや疾患のある家族への介護・介助に類するお世話(介護サービス、障害福祉サービス等の対象となる内容)だけでなく、幼いきょうだいの「食事の準備」、「見守り」、「入浴のお世話」等の既存の制度・サービスでは対応が難しいと思われるお世話の内容を希望する回答が確認された。
- ・ 国はこうした既存のサービスでは対応できないニーズに対応するため、『子育て世帯訪問支援事業』※を令和6年度施行の改正児童福祉法において法定化し、令和3年度から特例事業として国庫補助の対象としている。

※ 子育て世帯訪問支援事業

支援訪問員が家庭を訪問し、以下のサービスを提供する事業。

- ①家事支援(食事の準備、洗濯、掃除、買い物等の代行支援等)
 - ②育児支援(保育所等の送迎支援や一時的な子どもの保育地域の母子保健施策・子育て支援施策等の情報提供等)
- ・ 本事業の活用等による新たなサービスの創設・実施等により、お世話を担い、負担を感じている子どもの負担軽減を図る取組を進めていくことが必要と考えられる。

(4) 支援を行ううえで留意すべき事項

ア 高校生の負担の大きさ

- ・ 本調査により、高校生（全日制）は、他の学校種に比べて身体障がい、精神障がい、要介護、認知症等を理由にお世話が必要である父母、祖父母、兄・姉等のケアニーズの高い対象者をお世話している割合が高く、お世話の内容も「入浴やトイレのお世話」、「病院へ一緒に行く」、「薬の管理」など介護・介助に類する一般的に大人が行うお世話を担っているものが存在することがわかった。

こうした傾向は、年齢が高くなることにより、家庭内で担うことの出来るお世話が多くなり、『介護力』として大人と同等のお世話をするを求められることによるものと考えられる。

- ・ また、高校生（全日制）は「家族のこと」、「生活や勉強に必要なお金のこと」などの悩み事が高い状況で、学校や周りの大人にしてもらいたいこととして「お金の面で支援してほしい」との要望も多く、自分の代わりに代わってほしいこととしては「入浴のお世話」、「トイレのお世話」、「薬の管理」、「病院に一緒に行く」などを挙げていることから、上記のようなお世話を担うことについて負担を感じていることが推測される。
- ・ 高校生においては、『介護力』として扱われることのないように、家族全体をアセスメントしたうえで、適切なサービスを提供することが必要であると考えられる。

イ 子どもはお世話をする「理由」がわからないことが多い

- ・ 本調査の結果から、父母や兄・姉のお世話をしている理由について「わからない」と回答した割合が、年齢が低いほど高いことが確認された。

子どもは、大人から教えてもらわなければ、お世話の対象者がお世話を必要とする理由がわからず、また、大人から説明を受けたとしても子どもの理解度を超えた難しい内容であれば理解が出来ないこともあるものと推測される。

子ども自身が置かれた状況を把握できていないことが、周囲の大人への相談につながりにくい理由となっていることも考えられる（例えば、『うつ病で家事・育児が困難な母に代わって弟・妹のお世話をしている』ものの、子ども本人は単に『お母さんのお手伝い』として認識している等）。

- ・ 上記のことから、小学生や中学生においては、周囲の大人が子どもたちに目を配り、変化に気づき、話を聞き、ヤングケアラーの早期発見、早期支援につなげる体制づくりが求められる。そのためには、周囲の大人に対する広報啓発も重要である。

(5) 円滑な支援の実施のための体制等の構築

ア 社会的認知度の向上に向けた取組

- ・ ヤングケアラーの認知度は、半数以上が聞いたこともないと回答しており、内容まで知っている人は、高校生（全日制）で3割弱、小学5～6年生は約1割と認知度は低い。また、認知度が低いこともあり、自分がヤングケアラーだと思っている人は、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）のいずれも1割前後である。

ヤングケアラーについての知識を持っていなければ、お世話をすることについての悩み事や負担感があったとしても、相談したり支援を求めるに至らないものと推測され、ヤングケアラーが必要な支援を受けるためには、子どもの認知度向上に向けた取組が必要であると考えられる。

- ・ また、お世話をしている人のうち、お世話について相談をした経験がある割合は低く、ヤングケアラーを支援につなげるためには、大人による子どもの抱えるニーズへの「気づき」が重要となる。
- ・ 以上から、子どもたちと家族、学校はもとより、福祉を含めた関係機関・団体、地域全体に対し、ヤングケアラーに関する広報啓発を強化し、ヤングケアラーの早期発見につなげる取組が必要と考えられる。

イ 相談窓口の強化

- ・ 「(5) お世話に関する相談状況」のとおり、お世話について相談した経験がある人は、小学5～6年生、中学生、高校生（全日制）のいずれも1割台にとどまっており、相談のニーズがあるものの相談相手や相談方法がわからず相談に至らないものや、相談することを諦めているものもいることが確認された。
- ・ このことから、一人で悩みを抱えている子どもたちが誰かに相談できるような環境を作り、相談をきっかけとして必要な支援につなぐことが重要であると考えられる。
- ・ また、男性と女性では相談相手や相談方法の違いがあり、女性は学校の先生や保健室の先生、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの家族以外に相談することもあるが、男性は家族以外へ相談することが少ないことから、子どもたちが自分に合った相談方法を選択し、周囲を気にせず気軽に悩みを打ち明けられるよう、学校等身近な相談体制を整備するとともに、SNS相談窓口の設置など相談方法の工夫が求められる。

ウ 多機関連携の重要性

- ・ 本調査の結果から、お世話の対象者及び子どもの支援ニーズを満たすための支援・サービスの提供主体は、児童福祉、子育て、教育、高齢、障がい、医療、生活困窮等の多様な関連制度に渡るといえることから、それぞれの制度の支援者が適切に支援・サービスの提供を行うことが必要といえる。
- ・ また、ヤングケアラーに係る問題は、家族が抱える様々な課題が関係し複合化しやすく、支援を実施するうえでは、関連制度の支援を組み合わせる支援を実施することが必要であると指摘されている（有限責任監査法人トーマツ, 2022, 「多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル～ケアを担う子どもを地域で支えるために～」, P 8）。
- ・ 上記を踏まえると、ヤングケアラーへの支援を実施するうえでは、児童福祉、子育て、

教育、高齢、障がい、医療、生活困窮等の関連制度の支援者が連携し、家族の抱えるニーズを総合的にアセスメントしたうえで、制度の狭間で家族が必要とする支援が漏れることのないように、適切な支援・サービスを提供することが必要であり、このための各関係機関の情報共有・連携のためのネットワーク整備が重要であると考えられる。

(留意事項)

- ・ 今回の調査はお世話の状況について子どもを対象として調査を行ったものであり、「お世話」という言葉が意図する内容が年齢・性別等によって異なり、これにより回答の水準が異なる可能性があることや、「ヤングケアラー」の定義が法定化されていないことから、このことによっても回答の水準が異なる可能性があり、総じて子どもの主観による回答から実態を把握することには限界があるものと考えられたことについても留意する必要がある。
- ・ また、今回の調査は調査票における設問「問3 家族の中で、あなたが「お世話」をしている人はいますか。」で「いる」と回答した人を集計対象としているが、回答した中には深刻なケアを要する家族がいるわけではない人や大人が担うようなケア責任を引き受けているとまでは言えない、いわば子どもが行う範囲内の「お手伝い」として家事や家族のお世話をしている人が一定数含まれていると推測されることから、『お世話をしている家族がいる』＝『ヤングケアラー』ではないことに留意する必要がある。

1 調査票

アンケートの答え方

1. 答えは、質問の後ろにある選択肢のあてはまる番号に「○」をつけてください。
2. 「その他」に○をしたときは、()の中に自分で考えた答えを書いてください。
3. 「あてはまる番号すべてに○」と書いている質問は、あてはまると思ったところすべてに「○」をつけてください。
4. 答えたくない質問は答えず、次の質問に進んでもかまいません。
5. このアンケートに回答することで、あなた個人が特定されたり、あなたの家族に連絡がいくことはありませんので、安心して答えてください。

○ 「ヤングケアラー」とは、本来、大人が行う家事や家族の世話などを日常的に行っている若者のことをいいます。

こんな人がヤングケアラーです (イメージ)

家族を支えるために労働をし、障がいや病気のいる家族にケアしている。
障がいや病気のいる家族に代わり、買い物・料理・掃除、いじり世話をしている。
障がいや病気のいる家族に代わり、障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。
障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。
障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。
障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。
障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。
障がいや病気のいる家族の身の回りや食事の準備をしている。

出典：厚生労働省 ホームページ

◆ 「ヤングケアラー」と「お手伝い」の違い ◆
お父さん、お母さんは、毎日の仕事や家事で疲れています。そんなときに、あなたが食事の片づけやお風呂の掃除、庭の草むしりなどのお手伝いをしてくれると、きつと喜びます。大人に代わって家事や家族のお世話をしなければならない「ヤングケアラー」とあなたが両親を助けて行う「お手伝い」とはちよっと違うことをご理解ください。

市町村名

※住んでいる市町村と学校とがある市町村がある場合は、住んでいる市町村名を記入してください。

学年 年 クラス

整理番号

※整理番号は記入しなさい。

学校名

細

こ 子どもの生活実態に関するアンケート調査

アンケート調査への協力のお願

- このアンケート調査は、あなたのふだんの生活や困りごとをお聞きし、どのような支援があった方がよいか、考えるために行うものです。
- このアンケート調査に回答するかどうかはあなたの自由です。
- アンケートは名前を書かずに行いますので、あなたの回答が誰かに知られることはありません。
- みなさんの回答一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。
- このアンケート調査は、福島県子ども未来局 児童家庭課が実施しています。
- このアンケートに関して、分からないことや聞きたいことがある場合は、学校ではなく、以下の問い合わせ先までお願いします。

【アンケート調査に関する問い合わせ】
福島県子ども未来局児童家庭課 (電話番号：024-521-8665)

アンケート調査への回答方法

- 回答にかかる時間：10～20分程度
- 回答の手順



I. まず初めにお聞きます

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに「○」)

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

問2 あなたと一緒に住んでいるのはだれですか。(あてはまる番号すべてに「○」)

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. 兄・姉 → () 人
6. 弟・妹 → () 人
7. その他 ()

II. 家族や家族のことについて

問3 家族の中で、あなたが「お世話」をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに「○」)
※「お世話」とは、ぶつう夫人が行う家事や家族のお世話のことです(バットのお世話は含みません)。

1. いる 2. いない

問4 あなたがしているお世話について詳しく教えてください。

① あなたがお世話をしている人(あてはまる番号すべてに「○」)

<p>1. お母さん 2. お父さん 3. おばあさん 4. おじいさん 5. 兄・姉 6. 弟・妹 7. その他 () 8. お世話をしている家族はいない</p>	<p>→ 4ページ②-1から順番に答えてください</p>
--	------------------------------

お世話を必要としている人の状況について教えてください。

②-1 お母さん、あるいはお父さんをお世話している理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに「○」)

<p>1. 高齢(65歳以上) 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要 3. 認知症 4. 身体障がい 5. 知的障がい 6. こころの病気(うつ病など。疑いも含む) 7. 依存症(お酒やタバコなどをやめられず生活に問題を抱えている。疑いも含む)</p>	<p>8. 6、7以外の病気 9. 日本語が苦手 10. その他 () 11. わからない 12. お母さん、お父さんのお世話をしていない</p>
---	---

②-2 お母さん、あるいはお父さんに対してあなたほどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに「○」)

<p>1. 家事(食事前の準備や掃除、洗濯) 2. 送り迎え 3. 入浴やトイレのお世話 4. 買い物や散歩と一緒に行く 5. 病院へ一緒に行く 6. 話を聞く</p>	<p>7. 見守り 8. 通訳(日本語や手話など) 9. お金の管理 10. 薬の管理 11. その他 () 12. お母さん、お父さんのお世話をしていない</p>
--	--

③-1 おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに「○」)

<p>1. 高齢(65歳以上) 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要 3. 認知症 4. 身体障がい 5. 知的障がい 6. こころの病気(うつ病など。疑いも含む) 7. 依存症(お酒やタバコなどをやめられず生活に問題を抱えている。疑いも含む)</p>	<p>8. 6、7以外の病気 9. 日本語が苦手 10. その他 () 11. わからない 12. おばあさん、おじいさんのお世話をしていない</p>
---	---

③-2 おばあさん、あるいはおじいさんに対してあなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに「○」)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. 送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒にいく | 10. 薬の管理 |
| 5. 病院へ一緒にいく | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | 12. おばあさん、おじいさんのお世話をしている
ない |

④-1 お兄さん、あるいはお姉さんをお世話している理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに「○」)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分より幼いと思う | 6. 日本語が苦手 |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 7. その他 () |
| 3. 身体障がい | 8. わからない |
| 4. 知的障がい | 9. お兄さん、お姉さんのお世話をしていない |
| 5. 病气 (こころの病气含む) | |

④-2 お兄さん、あるいはお姉さんに対してあなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに「○」)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. 送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒にいく | 10. 薬の管理 |
| 5. 病院へ一緒にいく | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | 12. お兄さん、お姉さんのお世話をしていない |

⑤-1 弟や妹をお世話している理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに「○」)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 幼い | 6. 日本語が苦手 |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 7. その他 () |
| 3. 身体障がい | 8. わからない |
| 4. 知的障がい | 9. 弟、妹のお世話をしていない |
| 5. 病气 (こころの病气含む) | |

⑤-2 弟や妹に対してあなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに「○」)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. 送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒にいく | 10. 薬の管理 |
| 5. 病院へ一緒にいく | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | 12. 弟、妹のお世話をしていない |

問5 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。

- 何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。
- | | |
|----------|------------------------|
| 1. お母さん | 7. 親戚の人 |
| 2. お父さん | 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用 |
| 3. おばあさん | 9. その他 () |
| 4. おじいさん | 10. 自分だけで世話をしている |
| 5. 兄、姉 | 11. お世話をしている家族はいない |
| 6. 弟、妹 | |

問6 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに「○」)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1ヶ月に数回 |
| 2. 週に3～5回 | 5. その他 () |
| 3. 週に1～2回 | 6. お世話をしている家族はいない |

問7 あなたは平日 (学校へ登校する日) 何時間くらいお世話をしていますか。

- ※お世話をしている家族がいない場合は記入しなくてよいです。
- | |
|--------------|
| 1日 () 時間くらい |
|--------------|

問8 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありませんか。(あてはまる番号すべてに「○」)

- 1. 学校を休んでしまう
- 2. 遅刻や早退をしてしまう
- 3. 宿題など勉強する時間がない
- 4. 眠る時間が足りない
- 5. 友達と遊ぶことができない
- 6. 塾や習い事ができない
- 7. 振替活動ができない
- 8. 自分の時間が取れない
- 9. その他 ()
- 10. 特になし
- 11. お世話をしている家族はいない

問9 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに「○」)

- 1. 体力の面で大変
- 2. 気持ちの面で大変
- 3. 時間の余裕がない
- 4. 特に大変さは感じていない
- 5. お世話をしている家族はいない

問10 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについてだれかに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに「○」)

- 1. ある → 「問11」を答えてください
- 2. ない → 「問12」を答えてください
- 3. お世話をしている家族はいない → 「問17」を答えてください

問11 問10で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

- お世話の悩みについて相談したのは、だれですか。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. お母さん
 - 2. お父さん
 - 3. おばあさん
 - 4. おじいさん
 - 5. きょうだい
 - 6. 学校の先生
 - 7. 保健室の先生
 - 8. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
 - 9. 親戚(おじ、おばなど)の人
 - 10. 友達
 - 11. 病院・医療・福祉サービス(ヘルパーなど)の人
 - 12. 近所の人
 - 13. SNS上での知り合い

問12 問10で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

- 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. 相談するほどの悩みではないから
 - 2. 誰に相談するのがよいかわからないから
 - 3. 相談できる人がいないから
 - 4. 家族のことを話したくないから(恥ずかしい)
 - 5. 相談しても何も変わらないから
 - 6. その他 ()

問13 問10で「1. ある」「2. ない」と答えた人にお聞きします。

- 学校や周りの大人にしてみたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. 自分が行っているお世話を代わってほしい → 「問14」を答えてください
 - 2. 自分のことについて話を聞いてほしい → 「問15」を答えてください
 - 3. 家族のお世話について相談のってほしい → 「問16」を答えてください
 - 4. 家族の病気や障がい、お世話のことなどに ついてわかりやすく説明してほしい
 - 5. 自由に使える時間がほしい
 - 6. 勉強を教えてほしい
 - 7. お金の面で支障してほしい ()
 - 8. その他 ()
 - 9. 特になし
 - 10. わからない

問14 問13で「1. 自分が行っているお世話を代わってほしい」と答えた人にお聞きします。

- どのようなお世話を代わってほしいと認めますか。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. 掃除
 - 2. 食事の準備
 - 3. 洗濯
 - 4. 買い物
 - 5. 送り迎え
 - 6. 入浴のお世話
 - 7. トイレのお世話
 - 8. 散歩に一緒に行く
 - 9. 病院に一緒に行く
 - 10. 話を聞く
 - 11. 見守り
 - 12. 通訳(日本語や手話など)
 - 13. お金の管理
 - 14. 菓の管理
 - 15. その他 ()

問15 問13で「2. 自分のことについて話を聞いてほしい」と答えた人にお聞きします。

- どのような方法で話を聞いてもらったか相談のってほしいですか。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. 直接会って
 - 2. 電話
 - 3. SNS
 - 4. 電子メール
 - 5. その他 ()

問16 問13で「3. 家族のお世話について相談のってほしい」と答えた人にお聞きします。

- どのような方法で話を聞いてもらったか相談のってほしいですか。(あてはまる番号すべてに「○」)
- 1. 直接会って
 - 2. 電話
 - 3. SNS
 - 4. 電子メール
 - 5. その他 ()

(すべての次に)

問17 家族のお世話をしている子どもたちのために、必死だと認うことや、学校や身の回りの大人にしてもらいたいこと(問13で書ききれなかったことなど)を自由に書いてください。

Blank box for question 17.

問18 あなたは自分が「ヤングケアラー」であると認う思いますか。(あてはまる番号1つに「O」)

*ヤングケアラーについては、2ページの説明をみてください。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

問19 あなたの健康状態について教えてください(あてはまる番号1つに「O」)

- 1. よい
- 2. まあよい
- 3. ぶつう
- 4. あまりよくない
- 5. よくない

問20 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

① 欠席について (あてはまる番号1つに「O」)

- 1. ほとんど欠席しない
- 2. たまに欠席する
- 3. よく欠席する

② 遅刻や早退について (あてはまる番号1つに「O」)

- 1. ほとんどしない
- 2. たまにする
- 3. よくする

問21 放課後、部活動や塾、習い事などをしていますか。(あてはまる番号1つに「O」)

- 1. はい
- 2. いいえ

問22 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに「O」)

- 1. 友達のこと
- 2. 生活や勉強に必要なお金のこと
- 3. 学校の成績のこと
- 4. 家族のこと
- 5. 自分のために使える時間が少ないこと
- 6. その他()
- 7. その他()
- 8. 特にない → 「問24」を答えてください

問23 問22で1～7のいずれかに「O」をつけた人にお聞きします。

「O」をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいいますか。

(あてはまる番号1つに「O」)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. 話しはしたくない

(すべての次に)

問24 同じ学校に「ヤングケアラー」ではないかと認う入はいますか。

(あてはまる番号1つに「O」)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. 知らない

問25 普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまる番号すべてに「O」)

- 1. 授業中に寝てしまうことが多い
- 2. 宿題ができていないことが多い
- 3. 持ち物の忘れ物が多い
- 4. 部活動や塾、習い事を休むことが多い
- 5. 提出物を出すのが遅れることが多い
- 6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- 7. 保健室で過ごすことが多い
- 8. 学校では一人で過ごすことが多い
- 9. 友達と遊んだりおしゃべりしたりする時間が少ない
- 10. 特になし

問26 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありませんか。

(あてはまる番号1つに「O」)

- 1. 聞いたことがあります、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、よく分らない
- 3. 聞いたことはなかった

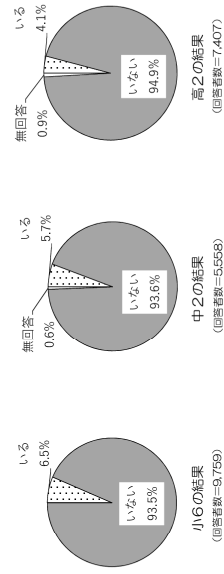
以上で、アンケートは終わります。ありがとうございます。

◆ 知ってほしい！ヤングケアラーのこと ◆

1 ヤングケアラーの実態 ※厚生労働省調査（以下国調査）より

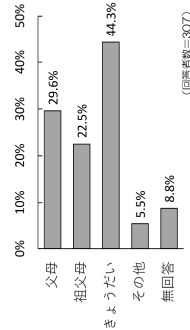
国が行ったアンケートにおいて、世話をしている家族がいるかを聞いたところ、小学6年生の6.5%（およそ15人に1人）、中学2年生の5.7%（およそ17人に1人）、全日制高校2年生の4.1%（およそ24人に1人）が「お世話をしている家族がいる」と回答しています。

図1 お世話をしている家族の有無（国R2・R3調査より）



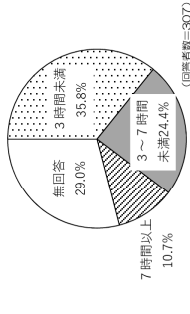
お世話の内容は、家事（食事の準備や掃除、洗濯）、身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）、見守り、感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）が多くなっています。

図2 お世話を必要としている家族（全日制高校2年）（国R2調査より）



ヤングケアラーがケアをしている相手はきょうだい（44.3%）が最も多く、次に父母、祖父母となっています。

図3 平日にお世話をしている時間（全日制高校2年）（国R2調査より）

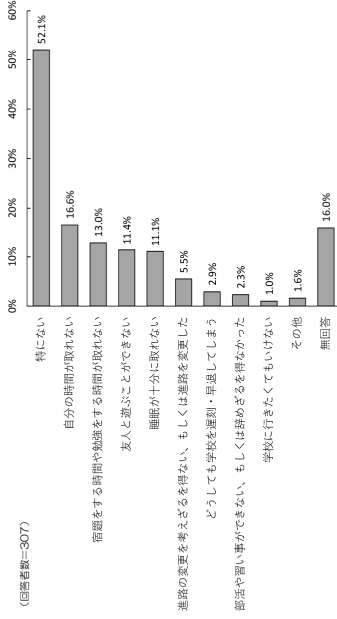


平日にケアに使っている時間は、3時間未満が35.8%と最も高くなっていますが、3～7時間未満が24.4%、7時間以上が10.7%となっており、長時間家族のお世話をしている子どももいることがわかります。

2 ケアによる学校生活への影響

ヤングケアラーは、家族のケアに時間を費やすことで、学校生活への影響も出ています。

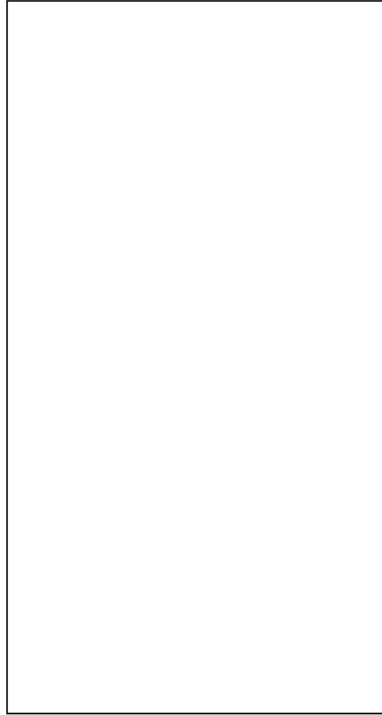
図4 世話をしているためにやりたけいれできないこと（全日制高校2年）（国R2調査より）（回答者数=307）



3 家族の世話を頑張っている友達にあなたならどんなことができますか？

もし、あなたの友達が家族の世話を頑張っているとしたら、そのことで友達が悩みを抱えながら生活していたとしたら、あなたは友達にどんなことができるでしょうか。すぐそばにいる友達であるあなただからできることがあります。みんなで考えてみましょう。

～時間が茶ってしまった人のためのフリースペースです。絵を描くなど自由に使ってください。～



福島県子どもの生活実態に関するアンケート調査報告書 令和5年3月

調査主体：福島県保健福祉部こども未来局児童家庭課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
TEL 024-521-8665 FAX 024-521-7747

分析・集計：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所
〒908-0811 仙台市青葉区一番町二丁目4番1号
TEL 022-225-3871 FAX 022-225-3866
